

戸田城外著『中等學校入學試験の話と愛児の優等化』(2)

塩 原 将 行

今回は、第三章を翻刻紹介し、残りの章は『創価教育』第5号で紹介して完結させる計画である。翻刻に当たっては、深沢由美子ほか学生との共同作業で作成することができた。感謝を込めて付記させていただく。

(本文)

資料凡例

- 一 原文は縦書きであるが、それを横書きに直した。
- 二 本文の表記により記載したが、旧字体で記載できない漢字については新字体に改めた。
- 三 複数字分の繰返しを示すおどり字は、ゝゝ、或はゝゞと字数分表記した。
- 四 誤字、誤植、誤記と考えられる個所には「ママ」と表記した。
- 五 脱字と考えられる個所は、〔 〕で加えた。
- 六 判読できない文字は、■と表記した。

第三章 近年に於ける入學試験様式の變遷

一 大正十四年度の入學試験問題と其の前の傾向

二三年前からメンタルテストと申して兒童の心性検査をして入學させる方法が非常に流行致して居りましたが、此れも實際上の問題と致しては、兒童の心性をはつきり見ることの出来ない不完全なもので御座いました。それで何時とはなしに一般に用ひられなくなりまして小學校の教科書を主體とした算術、國語、地理、歴史、理科の問題が主に程出されて居りました。勿論一、二校をのぞいて大部分が此の試験法で試験の成績によつて入學を許して居り、小學校の成績などは殆んど参考にも致しませんでした。此の時代の問題は中等教員が選出するためにどうしても、中等學校式とも言ひたい様な學科主體の問題が多く、其れがため中々問題の程度が高くて、教科書を暗記した位では到底よい成績はとるわけには参りませんでした。第二の特異點は問題の多かつた事で御座います。一例として拔萃致しますなら次の様であります。

府立一中「公園にある大木に長さ一丈七尺の繩を巻き付けて見たら二周して、まだ繩が四分四厘餘つた。此大木の直徑は何程か。」

府立八中「赤穂の義士が主人のために復讐した頃は、一般に武勇の氣風が盛んだつたか。」

武 高 尋「正遷宮の御儀式とは何か。」(約四十字)

「^{こくさいれんめい きやく}國際聯盟規約とは何か。」(約五十字)

「甲は最初の一分間に七十五間走るが次の一分間には六十五間、また次の一分間には五十五間といふやうに、一分^{ぶん}たつ毎^{ごと}に十間づゝ遅くなる、乙は最初の一分間に六十五間、次の一分間に六十一間以下同様に毎分四間づゝ遅く走る、此の二人が四町の競争をすればどちらが^{なんげんか (ママ)}何間勝つか」と言ふ様な問 題^{もんだい (ママ)}で御座います。

以上は極く一少部分を掲げたので御座いますが、何しろ此の試験にかゝつたら學科の學習の結果が^{めいかく}明確に現はされないではおかないので御座います。

此の様な方法で必ずしも^{はうはく}智能的な優秀生を集め得るとは^{だんげん で き}斷言出来ませんが其の時の學科の優秀者は必ず榮冠を得ることが出来たのは確かな事實で御座います。

されば子供にとつては^{どりよく}努力に^{むく}酬ひられた時代とでも申しませうか。次に此の時代の代表的な學校の問題を^{さんかう}參考にまでかゝけておきます、如何に^(ママ)問 題^{もん だい}が多いかを御知り下さい。

~~~~~

## 東京府立第一中學校

### ○國 語 科 (第一日分)

(一) 左ノ文ノ意味ヲ書ケ。(問題ハ寫取ラナイデヨロシイ)

ピットは幼時から學問に熱中し、又世事に對しても、賢明な考察、思慮ある判断を下して、何時も兩親に舌をまかせた。

(二) 左ノ句ノ意味ヲ書ケ。

(イ) ほこりにかにその來歴を説く。 (ロ) 圓かなる夢を亂さず。

(ハ) 大局を見るに明らかなり。 (ニ) 好奇の目を注ぐ。

(三) 左ノ語ノ意味ヲ書ケ。

(イ) 推重。 (ロ) 宿志。 (ハ) 加工。 (ニ) 遺徳。 (ホ) 原稿。

(四) 左ノ句ノ片假名ノ部ヲ漢字デ書ケ。

(イ) 幾多のコンクを忍んで燈臺ケンセツの資金をボシフした。

(ロ) シヤウビヤウ者のクワンゴに従事す。

(五) 左ノ句ハドウイフ意味ノ事ヲ書イタモノカ。(問題ハ寫取ラナイデヨロシイ)

(イ) 赤十字社の記章の附いた旗のひらめくところには、國境もなければ人種の差別もない。

(ロ) につこりと笑つて永い眠についた。

### (第 二 日 分)

(一) 左ノ歌ノ意味ヲ書ケ。(問題ハ寫取ラナイデヨロシイ)

松のあらしはさゝやきあひて、海にちりぼふ五百島・千島、如何なる神のなししたくみぞ。くしきながめは見る間に變りて、雨の松島いよゝ<sup>(ママ)</sup>珍し。

(二) 左ノ語ヲ用ヒテ短文ヲ作レ。

- (イ) もちろん。 (ロ) 必ずしも。 (ハ) いはゆる。 (ニ) やゝもすれば。  
(三) 左ノ語ノ意味ヲ書ケ。

(イ) うるほす。 (ロ) けたゝまし。 (ハ) たづさはる。 (ニ) したゝる。  
(ホ) なづむ。

- (四) 左ノ句ノ片假名ノ部ヲ漢字デ書ケ。

(イ) 近來は飛行機のサウジユウが益々カウメウになつた。  
(ロ) シユンキクワウレイサイも過ぐればヒガン櫻は早くも咲き出づ。

- (五) 左ノ句ハドウイフ意味ノコトヲ書イタモノカ。(問題ハ寫取ラナイデヨロシイ)

(イ) 總理大臣の椅子を占めた。  
(ロ) 玉はいつまでも塵の中にうづもれてはゐない。

### ○作 文

交通機關。(口語體)

### ○算 術 科

(1)  $\left(5\frac{5}{12}-3\frac{11}{18}\right) \times \left(1\frac{7}{13}+2\frac{4}{5}\right) \div \left(3\frac{5}{6}-2\frac{19}{24}\right)$ ヲ計算セヨ。

(2) イギリスノ面積ハ12・391方マイルアル、コレハ幾方里カ、但1マイルヲ0.41里トス。

(3) 大工8人14日ノ賃錢ガ425圓60錢デアルト21人16日ノ賃錢ハ幾ラデアルカ。

(4) 縦31米、横30米ノ矩形ノ土地ガアル。(マ) 1坪ノ價ヲ26圓トスルト此ノ土地ノ價ハ幾ラカ。

(5) 蜜柑ヲ幾ツカ買ツタガ其ノ中ニ腐ツタモノガ、32アツタ、腐ツタモノハ100ニ<sup>(マ)</sup>キキ4ノ割合デアル、全體デ幾ツアツタカ。

### (第 二 日)

(1) 110哩ヲ177軒トスルト、東京下關間702.8哩及ビ上野青森間456.9哩ハ各幾軒カ、四捨五入シテ小数第一位マデ求メヨ。

(2) 公園ニアル大木ニ長サ1丈7尺ノ繩ヲ巻付ケテ見タラ2周リシテマダ繩ガ4分4厘餘ツタ、此ノ木ノ直径ハ何程カ、但圓周ハ直径ノ3.14<sup>(マ)</sup>俗トス。

(3) 或工場デハ午前8時ニ仕事ニカカリ午後5時15分ニ終ル、晝休ガ1時間ノ $\frac{3}{4}$ デ午前十午後ニ15[分]ゾツノ休ガアルト、働ク時間ハ何時間デアルカ。

(4) 梨625箇ヲ甲乙丙丁ノ四組ノ生徒ニ人数ノ割ニ分ケヨウト思フ、甲組51人、乙組43人、丙組45人、丁組46人居ルト各組ノ分前ハ幾ツツツカ。

(5) 一株50圓ノ某會社株ヲ■5圓デ買ヒ、年1割7分ノ配當ヲ得レバ利廻リハ幾ラニ當ルカ。

### ○歴史・地理・理科問題(六十分)

(一) (イ) 武家政治とは何か。 (ロ) 誰が始めたか。

(ハ) いつやんだか。 (ニ) 幾年程つゞいたか。

(ホ) その政廳はどこにあつたか。

(二) 五箇條の御誓文に「智識を世界に求め」と仰せられたが、それまではどうであつたか、その有様を書け。

- (三) 北海道と臺灣との農産物を比較し、且その相違のできたわけを書け。
- (四) 日本は次の國からおもに何を輸入するか、支那、アメリカ合衆國、オーストラリヤ。
- (五) (イ) みがじゆくするとわれる植物四つの名を書け。
- (ロ) 次の動物はどんなにして食物をとるか。
- つばめ。 うんか。 とんぼの子。
- (六) 電話機の送話器と受話機とはどんなにくつがもとになつてゐるか。

### 東京府立第四中學校

#### ○國語科

- (一) 左の文を読んで次の問に答へなさい。

讀者を離れて新聞はない。若し世間に下品な新聞があるとすれば、それは一面から見ると、讀者の品性の低い事をあらはすわけである。之を思ふと、讀者は單に讀むだけでなく、同時に又自ら新聞の土臺を築いて行くものといふべきである。

問(一)「品性の低いとは<sup>(ママ)</sup>」どんなことか。

(二) どうすれば新聞のよい土臺が築かれるか。

- (二) 左の文を読んで次の問に答<sup>(ママ)</sup>へなさい。

東照宮の出來た時、大名は皆争つて高價な燈籠などを獻じた。ところが其の中に、一人全然變つたものを獻上した人がある。それは松平正綱といつて幼少の時から家康に仕へ、東照宮の造營にもたづさはつた人である。正綱は主君に受けた厚恩と其の死後までかうして仕へるといふくしき因縁とに感激したのか、永遠に意義あるものを獻上したいと考へて、遂に杉並木を作ることにした。

問(一)「其の」は何をさすか。(二)「全然變つたもの」とは何か。

(三)「それ」は何をさすか。(四)「其の」は何をさすか。

(五)「かうして仕へる」はどうして仕へたのか。

(六)「くしき因縁」のわけを書きなさい。

- (三) 左の歌と文とのわけを書きなさい。

(イ) ほどゝに心を盡くす國民の力ぞやがて我が力なる。

(ロ) 天下萬民の爲に一臂の力をかさんことを望む。

- (四) 左の語の上或は下に適當な語を加へて短い文を作りなさい。

(イ) もちろん。(ロ) 案外。

- (五) 左の文字のどれにも、上か下かに一字を加へて熟語としなさい。

絡。 測。 展。 偉。 奮。 掲。

- (六) 左の語の讀方とわけとを書きなさい。

輕侮。 篤學。 回顧。 遠淺。

- (七) 左の文の片假名のところに適當な漢字を書きなさい。

橋の或一箇所がヒツエウ( )にオウ( )じ、其の中央にマウ( )



けられた橋脚を中心にして水平にクワイ<sup>(マ)</sup>ラン( )するサウチ( )になつてゐる。一朝風荒れ波怒つた時などはカウカイ( )に馴れたジユクレン( )の船夫さへナンパ( )の憂目を見ることがしばしばであつた。

○算 術 科

(1) 次ノ問題ハ答ダケ書ケ。

(イ) 24ノ約數ヲ殘ラズ書ケ。

(ロ) 100カラ200マデノ間<sup>(マ)</sup>ヲ5ノ倍數ハ幾ツアルカ。

(ハ)  $\frac{2}{17}$ ,  $\frac{4}{28}$ ,  $\frac{2}{19}$ ,  $\frac{4}{30}$ ,  $\frac{2}{23}$ , ヲ大キイ方カラ順ニ書ケ。

(ニ) 目分量デ、下ノ線ノ長サヲメートル法デハカレ。

|—————|

(2) 次ノ問題ハ計算ト答トヲ書ケ。

(イ)  $\frac{1}{8}$ ヲ歩合デハ何トイフカ。

(ロ) 減數ノ $\frac{2}{5}$ ト其ノ殘リノ $\frac{5}{9}$ トハドチラガ大キイカ。

(ハ)  $\frac{4}{5}$ ハ $\frac{2}{15}$ ヲ幾ツ集メタモノカ。

(ニ) 甲數ガ乙數ノ $1\frac{2}{3}$ 倍デアル、乙數ノ甲ニ數對スル比ノ値ハ幾ラカ。

(3) 次ノ問題ハ計算ト答トヲ書ケ。

(イ)  $3\frac{2}{7} \times 6 \div 18 \div \frac{3}{7}$ ヲ計算セヨ。

(ロ) 15時10分ヲ2時<sup>(マ)</sup>10分デ割レ。

(4) 次ノ問題ハ式ト答トヲ書ケ。

(イ) ニツノ分數ガアル、其ノ和ハ3デ、差ハ大ノ $\frac{4}{7}$ デアル、此ノニツノ分數ハ幾ラカ。

(ロ) 米ト麥ノ1石ノ價ノ比ガ5:8デアルト、米45石ヲ買得ル金高デ麥ハ幾ラ買ヘルカ。

(5) 次ノ問題ハ式ト答トヲ書ケ。

(イ) 重サ55瓦ノ封ジタ手紙ヲ郵便デ出スニハ3錢切手幾枚ハレバヨイカ。

(ロ) 水ハ目方デイフト水素1ト酸素8ノ割合デ出來タ化合物デアル、1.8匁ノ水ノ中ニアル酸素ノ目方ハ幾ワカ。

(6) 次ノ問題ハ式ト答ダケ書ケ。

社債券ノ利子ノ所得稅率ハ $\frac{5}{10}$ デアル、年利7分ノ或社債券額面1200圓ヲ持つテ居ル人ハ所得稅ヲ引去リテ半年毎ニ何程利子ヲ得ルカ。

○地理・歴史科

(一) 北海道朝鮮臺灣ニ於テ本州ト最モ交通多キ港ヲツツ<sup>(マ)</sup>、アゲヨ。

(二) 九州地方ニテ石炭ヲ多ク産スル縣ヲ問フ。

(三) 戰國時代ノ亂レシ天下ハ誰々ニヨリ平ゲラレシカ。

(四) 伊藤博文ニツキテ知レル所ヲ記スベシ。

○理 科

(一) 左ノたねヲマイテはつがシタエヲカケ。

(イ) だいづ。 (ロ) そら<sup>(マ)</sup>よめ。 (ハ) 松。 (ニ) 稻。

(二) 左ノ問ニ答ヘヨ。

(イ) つばめヲ取ツテハイケナイワケ。

(ロ) 動物ニヨツテ病ヲ人ニ傳ヘルモノ二種。

1、動 物 ……病 名

2、動 物 ……病 名

(三) 次ノモノ、中デ (イ) ニホヒノアルモノ (ロ) 燃エ易イモノ (ハ) 水ニトケヌモノハ何々カ。

いわう。 アンモニア。 アルコール。 パラフィン。

(イ) ニホヒノアルモノ。 (ロ) 燃エ易イモノ。

(ハ) 水ニトケヌモノ。

(四) 鹽酸ト硝酸ニツイテ次ノコトヲ書ケ。

(イ) 試験紙ニ對スル働……鹽酸ハ 硝酸ハ

(ロ) 亜鉛ニ對スル働……鹽酸ハ 硝酸ハ

(ハ) 銅ニ對スル働……鹽酸ハ 硝酸ハ

(ニ) 毛織物ニ對スル働……鹽酸ハ 硝酸ハ

(五) 次ノワケヲ簡單ニカケ。

(イ) 日光デ物ヲ見ルトキ白色。 黑色又ハ赤色ニ見エルワケ。

白色…… 黑色…… 赤色……

(ロ) 電話機ノ送話器ニ炭素ノ粒ヲ多ク入レルワケ。

(ハ) 電燈ノ球ノ發光スル部分ヲ「タングステン」ノ細イ線デ作ルワケ。

東京府立第八中學校

○國語科問題 (時間八十分)

(一) 次ノ——ノツイテキル言葉ヲ漢字ニナホシテ書キナサイ。

フキン<sup>(マ)</sup>の送話局から、オンガクやカウエンや其の日の出來事など一定のジコクにハツシンすると、其の機械を持つてゐる人が隨所で聞くのである。これはカカクも安く、其の上トリアツカヒも極めてカンタンである。

(二) 次ノ漢字ノ讀ミ假名ヲ其ノ右ワキニオ書キナサイ。

早 速。 興<sup>(マ)</sup> 味。 境 内。 飼 養。 並 木。 強ひて。 馴れる。 注 ぐ。

(三) 次の文中——ノツイテキル所ノワケヲオ書キナサイ。

1. 我、父上に後れ奉りし後は、伊豆の配所に在りて、心に任せぬ悲しさ。御身が奥州に下りし由はかすかに聞き及びながらおとづれもせざりに、兄弟の情を忘れず一家の大事に馳加

りし事、此の上もなき喜なり。

2. 事の成否は今より豫測すべからず、若し向ひの山にのろしのあがるを見ば、幸に城を出でたりと知るべし。

(四) 次ノ文中——ノツイテキル言葉ハ何ヲサシテキマスカ。

論語は、曾參と有若との門人等が、孔子及び其の高弟の言行を集録したるものにして、最もよく此の大聖の面目をうかがふを得べし。今此の書によりて其の一端を述べん。

(五) 次ノ文ハ、○ガ、ナクートツヅキニ書イテアルガ、文ノ意味ヲ考ヘテ適當ナトコロヘ○ダケオツケナサイ。

ピットの聲望は日を追うて高まり越えて二年大藏大臣に推され更に其の翌年の冬には總理大臣となつた實にピットが二十五歳の時である國民は彼が餘りに弱年であるので幾分不安の念を以て此の内閣を迎へたしかし幾多の難問題に行きなやんでゐた當時のイギリスの政界はピットのやうな天才者にまつ所が多かつたので年と共に彼の信望も加り遂に前後十九年の久しい間總理大臣の椅子を占めたのであつた。

○算術科問題 (時間8分)

(1)  $9+4+8+3+7+4+2+7+9+8=$

$$\begin{array}{r} 4\ 5\ 8\ 6\ 7 \\ \times \quad 8 \\ \hline \end{array} \qquad 8) \underline{5\ 7\ 8\ 4\ 8}$$

(2)  $7+6+2+3+8+1+5+9+4+8=$

$$\begin{array}{r} 3\ 7\ 5\ 1\ 2 \\ \times \quad 9 \\ \hline \end{array} \qquad 9) \underline{3\ 7\ 5\ 1\ 2}$$

(3)  $2+3+8+9+3+5+7+8+6+4=$

$$\begin{array}{r} 4\ 3\ 2\ 8\ 5 \\ \times \quad 7 \\ \hline \end{array} \qquad 7) \underline{3\ 7\ 9\ 7\ 5}$$

(4)  $8+7+3+4+7+8+9+5+2+6=$

$$\begin{array}{r} 7\ 3\ 4\ 2\ 6 \\ \times \quad 6 \\ \hline \end{array} \qquad 6) \underline{9\ 8\ 0\ 7\ 6}$$

(5)  $5+3+5+2+6+7+1+8+6+4=$

$$\begin{array}{r} 3\ 4\ 6\ 2\ 8 \\ \times \quad 4 \\ \hline \end{array} \qquad 4) \underline{3\ 0\ 0\ 0\ 5\ 2}$$

(6)  $2+6+1+8+9+9+8+5+4+3=$

$$\begin{array}{r} 7\ 6\ 9\ 9\ 9 \\ \times \quad 3 \\ \hline \end{array} \qquad 3) \underline{8\ 4\ 5\ 3\ 7}$$

(其の二) (1時間10分)

(1) 次ノ計算ヲナセ。

$$(イ) 3\frac{1}{4} \times \frac{2}{9} \times \frac{3}{13} + \frac{1}{3} \div 2$$

$$(ロ) 5\frac{5}{8} - 3.5 \div 2\frac{2}{3} - 3\frac{15}{16}$$

(2) 上底6糎, 下底10糎, 高サ7糎ノ梯形ノ面積ハ何程 <sup>(ママ)</sup>ガ。

(3) 甲乙二人ノ所持金ハ相等シイ。今甲ハ所持金ノ  $\frac{4}{7}$  ヲ使ヒ, 乙ハ  $\frac{3}{5}$  使ツタ, 残りヲ調べルト  
甲ノ方ガ乙ノヨリ2圓多カツタ。甲乙兩人初メノ所持金ハイクラカ。

(4) 茶138斤ヲ103圓50銭デ仕入レ, 之ヲ賣ツテ2割6分ノ利ヲ得ント思フ。1斤ノ賣價ヲイクラニスレバヨイカ。

(5) 子供ノ日給ハ大人ノ  $\frac{1}{3}$  デアルトキ, 大人6人子供2人ノ1日分ノ日給ガ合計20圓デアルト,  
大人ト子供ノ日給ハ各イクラカ。

(6) 水ハ目方デイフト <sup>(ママ)</sup>。水素1ト酸素8ノ割合デ出来タ化合物デアル。1800グラムノ水ノ中ニ  
アル酸素ノ目方ハイクラカ。

○歴史科問題

(一) 明治二十七八年戦役の結果我が國と清國とは下關係約を結んだが、それにはどんな事をきめましたか。

(二) 元寇(元軍の來寇)をうちはらふ事の出来たわけをお書きなさい。

(三) 次の事が正しかつたら○を、違つてゐたら×を、各々の番號の上にお書きなさい。

1. 源頼朝の前にも征夷大將軍と云ふ職はあつた。
2. 織田信長は大いにキリスト教を禁じた。
3. 水戸家の徳川齋昭は徳川幕府から、きはれ恐れられた。
4. 明治天皇は第百二十一代にまします。
5. 赤穂の義士が主人の爲に復讐した頃は、一般に武勇の氣風が盛だつた。

○理科問題

(一) いかノ體ハたコノ體ニクラベテドンナトコロガチガヒマスカ。

(二) 次ノモノニ就テ説明シナサイ。

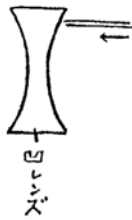
(イ) あ <sup>(ママ)</sup>こ やがひ……。 (ロ) つのまた……。 (ハ) 子 葉……。

(ニ) 深 成 岩……。 (ホ) 動 脈……。

(三) 次ノ問ニ答ヘヨ。

(イ) 炭酸がすカ窒素カヲ知ル方法。 (ロ) 亞硫酸がすノ性質。

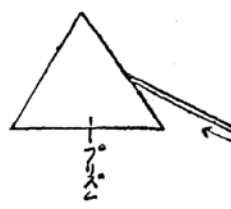
(四) 左ノ圖ノ様ニ光ガ矢ノ方向ニアツタトスレバ、ドノヤウニ屈折スルカヲ圖に記入セヨ。



(イ)



(ロ)



(ハ)

### 武蔵高等學校 (尋常科)

#### ○理解力問題 (時間六十分)

- (一) 正遷宮の御儀式とは何か。 (約四十字)
- (二) 國際聯盟規約とは何か。 (約五十字)
- (三) 民事裁判と刑事裁判との違ひを述べなさい。 (約四十字)
- (四) 新聞社の組織を述べなさい。 (約六十字)
- (五) えんさんととりうさんと似て居る點を述べなさい。 (約五十字)
- (六) 赤穂義士の節義を述べなさい。 (約百字)
- (七) 關東州について述べなさい。 (約五十字)
- (八) 日本本島の主要な山系を述べなさい、<sup>(ママ)</sup> (約三十字)
- (九) わが國の米と麥との産額を比較しなさい。 (約十字)
- (十) 「間はゞや遠き世々の跡<sup>(ママ)</sup>」とは何のことか。 (約二十五字)

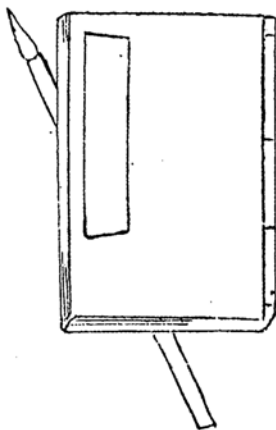
#### ○計算力問題 (五十分)

- (1) 十萬分の一の地圖で長さが8寸9分1厘ある道は實際何軒か。
- (2) 五十錢銀貨ばかりを持つて居る人がある、其の金高の三倍は十圓よりも少く、又五倍は十四圓よりも多い、何枚か。
- (3)  $\frac{27}{30}$  にくらべて分母も分子も6だけ小さな分數を小數になほせ。
- (4) 菓子屋で一斤47錢の菓子三斤と、一斤43錢の菓子二斤と、一つ9錢の菓子七つとを買つて五圓札を出したら、一圓札と銀貨若干とを返した、此の銀貨は何程か。
- (5) 次の計算を行へ。  $12.34 + \frac{3}{8} - 5.34 + \left(7.75 + 4\frac{1}{4}\right) \div 4 + \frac{1}{8} + \frac{1}{2}$
- (6) 甲も乙も金を540圓貰つた、甲はすぐ商買をして二割五分儲けたが<sup>(ママ)</sup>其のあとで160圓の損をした、乙は初めに120圓消費したが、其の残りで商買を初めて二割五分儲けた、甲乙どちらが何程たくさん金を持つて居るか。
- (7) 一千個の蜜柑を百七十三人の小學生に各人同數づつ出来るだけ多く分配し、其の残りは二つ自分が取つたほか全部を校長や先生や小使等十九人の人達に公平に分配した、十九人の大人は各一人幾つ貰つたか。
- (8) 甲は最初の一分間に75間走るが次の一分間には65間、また次の一分間には55間といふやうに一分たつ毎に10間づつ遅くなる、乙は最初の一分間に65間次の一分間には61間、以下同様に

毎分4間づつ遅く走る、此の二人が四町の競争をすればどちらが何時間勝つか。

○観察力問題（時間三十分）

此の寫生圖で美でない、又は真でない形を<sup>(ママ)</sup>綿筆でなほすか、或はさういふ缺點を文章で列挙しなさい。



麻布中學校

○國語科（一）（二）（三）（四）の問題は各々別の紙にかきなさい。

（一）左の文や句のわけをかきなさい。

- （イ）月影さゞなみにくたく。                      （ロ）事の成否は今より豫測すべからず。  
 （ハ）舊法にな<sup>(ママ)</sup>づまず。                      （ニ）古の武蔵野の面影をしのぶ。  
 （ホ）中正不偏を貴ぶ。

（二）左の語に讀方をつけなさい。

- （イ）御威稜。                      （ロ）屏風。                      （ハ）醸す。  
 （ニ）恤兵。                      （ホ）一臂の力。

（三）左の文中の片假名に漢字をあてなさい。

- （イ）要はカジャウジャウタツの道を開かせ給ふセイリヨに外ならず。  
 （ロ）大空の雲をナガめてゐるとムゲンのキヨウミがワク。  
 （ハ）この大チヨジユツ<sup>(ママ)</sup>ばそのケンキュウの結果で我が國文學の上にフメツの光をハナつてゐる。

（四）（甲）左の文字を用ひて各々一つづつの熟語をかきなさい。

- （イ）救。                      （ロ）設。                      （ハ）構。                      （ニ）娛。                      （ホ）報。

（乙）左の文字について各々反對の意味がある文字を一つづつかきなさい。

- （イ）高。                      （ロ）増。                      （ハ）横。                      （ニ）濃。                      （ホ）貸。

○算術問題

（1） $\left(3\frac{1}{3}-2\frac{7}{12}+7\frac{3}{4}+\frac{5}{6}\right)\div\left(6\frac{7}{8}-1\frac{1}{4}\times2\frac{3}{5}\right)$ ヲ計算セヨ。

(2) 次ノ算式ヲ書イテ□ノ所ヘ適

□ 2 7

當ノ數字ヲ書キ入レナサイ。

+ 1 □ 6

6 7 □

(3) 箱ガアリマス、内法ハ長サ、幅、深サイヅレモ9寸9分ツツデアリマス、此レニ清水ヲ滿タシタトキニハ、其清水ノ目方ハ何匁ニナルカ。又何貫何匁ニナルカ。

(4) 金若干圓ヲ三人ノ子ニ分ケテヤリマシタ、長子ニ其 $\frac{5}{12}$ 、次子ニ其 $\frac{1}{3}$ 、末子ニ其残りヲ與ヘマシタガ、長子ト末子トノ取り前ノ差ハ400圓デアリマシタ、總金額何程カ。

(5) 50圓ニ賣ルト2割5分ノ利益ガアル品物ヲ、3割ノ利益<sup>(マツ)</sup>バ<sup>(マツ)</sup>アルヤウニ賣ルノニハ其賣價ヲイクラニセネバナラヌカ。

### 東京府立第一高等女學校

#### ○國語科(一時間四十分)

(一) 左の文の片假名にあたる漢字をその下の括弧の中にお書きなさい。

舟はキフリウ( )に乗りて、今にも岩にツキアタ( )らんとし、或はフチ( )に落入らんとするを、舟人はさをにてタクミ( )にアヤツ( )りて進む。

(二) (1) 次の文を読んで、

1 何故に孔明は孟獲に陣營を見せましたか。 2 孔明はなぜ笑ひましたか。

3 孟獲はなぜ其の後反しませんでしたか。をお答へなさい。

蜀の南方亂れし時、孔明はかりごとを以て賊將孟獲を捕へ、陣營を示して「此の軍備を何と見る。」と問ふ。孟獲答へていはく、「かくの如しと知らば、何ぞ敗れん。」と。孔明笑ひて之を放ち、再び戦はしめて再び之を捕ふ。かくすること七回に及びしかば、孟獲感歎し、「公は天授なり。敵すべからず。」と言ひてまた反することなかりき。

(2) 次の文の中の、1の「之」は何を指し、2の「これは」<sup>(マツ)</sup>何を指すかを、お答へなさい。

家光あやしみて、「汝多年嘉明と不和なりと聞く。今1之を推舉するは如何に。」と問ふ。

「高虎の嘉明と相惡むは私の小事なり。2これは公の大事<sup>(マツ)</sup>を<sup>(マツ)</sup>り。何ぞ私事を以て公事を害せんや。」と答ふ。

1 (之) 2 (これ)

(三) 1 <sup>(マツ)</sup> 次の文字の讀方及び意味を、下の括弧の中にお書きなさい。

続べ。 猶豫。 遺言。 鮮か。 詳に。 輕侮。

(2) 次の文の意味を、其の文の次のあきにお書きなさい。

1 古人の句われをあざむかず。

2 何とて命を捨つるに及ぶべき。

3 我が國の氣候風土の、畜産に適せざるにあらず。

4 十勝平原は、北海道有数の農作地なり。

(四) 次の文字又はことばに間違があつたら、そのわきにおなほしなさい。

- 1 くもは其の體より絲を出して綱を張り、蟲のかかるを持ちて之を捕ふ。
- 2 私は、級中で成績もよく、操行も正しい人に投票します。
- 3 今日より後は、力を合せて、帝都の復興を計りたり。
- 4 私の母が、「これをあなたにやるやうに。」とおつしやいました。

(五) 次の各行の二つの語を用ひて一つの文をお作りなさい。それをその次にお書きなさい。

- 1 梅、兩。      2 覺悟、あらずや。      3 萬一、注意。      4 應用、青。
- 5 うららか、不安。

○算 術 科 (第一回)

(1)  $2\frac{1}{6} = 2\frac{5}{26}$  ヲ掛ケタモノヲ、ドンナ數デ割ルト、57トナルカ。

(2) 甲乙二人ガ合計56圓ヲ持ツテキタガ甲ハ12圓ヲ損シ乙ハ15圓ヲ利益シタノデ甲乙ノ所持金ガ等シクナツタ。甲乙ガ初メニ持ツテキタノハ各何圓カ。

(3) 或學生ガ東京カラ大阪マデ旅行シヨウトシテ二割引ノ鐵道<sup>(マ)</sup>亂車<sup>(マ)</sup>券ヲ求メ、通行税共デ4圓88錢ヲ支拂ツタ。割引ガナケレバ其ノ賃金ハ通行税共デ何程カ。但シ通行税ハ4錢デ、ソレニハ割引ガナイ。

(4) 次ノ式ノ△ノトコロニ適當ナ數字ヲ書キ入レナサイ。

$$(16 \times 10.5 + \triangle) \div 5.08 = 45$$

(5) 長サ1尺2寸幅6寸5分厚サ2寸5分ノ箱ガアル。ドノ面ニモ、ヒモ<sup>(マ)</sup>ノヲ十文字ニカラゲルニハヒモノ長サガ何尺イルカ。

但シ結び目ノ分ハ計算ニ入レナイデヨロシイ。

(6) 縦36糎横2■糎ノ紙ガアル、コレヲ2糎ヅツノ幅ニ切り、縦ニツナイデ細長イ紙ヒモヲ、ツクルノニ縦ニ切ツテ、ツナイダトキト横ニ切ツテツナイダトキト、ドチラガドレ<sup>(マ)</sup>ケ長イカ。但シ紙ト紙トノツナギメハ2耗ノ重ナリトスル。

(第 二 回) (12分)

次ノ計算ヲ、12分間ニ、順ニ、出來ルダケオヤリナサイ。

- |                                               |                                                                |
|-----------------------------------------------|----------------------------------------------------------------|
| (1) $32 + 13 + 725 =$                         | (2) $152 + 8001 + 120 + 3023 =$                                |
| (3) $4748 - 136 =$                            | (4) $362874 - 221801 =$                                        |
| (5) $2201 \times 231 =$                       | (6) $375024 \div 312 =$                                        |
| (7) $3225 + 134 + 2900 + 5004 + 4050 + 363 =$ | (8) $62132104 - 38396767 =$                                    |
| (9) $56804 \times 564 =$                      | (10) $15826992 \div 4 =$                                       |
| (11) $3333220 \div 436 =$                     | (12) $78558 + 68696 + 59393 + 73859 + 66773 + 68887 + 98951 =$ |
| (13) $16535424 - 8875657 =$                   | (14) $89576 \times 876 =$                                      |
| (15) $51495423 \div 7 =$                      | (16) $5361384 \div 679 =$                                      |



○歴 史 科 (三十分)

- (一) 今年是我國の紀元何年ですか。  
 (二) 此の東京はもと何といった地ですか。  
 (三) 神武天皇はなぜ日向から大和へお出でになつたのですか。  
 (四) 我が國の佛教が始めてつたはつたのはどこからですか。  
 (五) 神皇正統記は誰が作つたものですか。  
 (六) 武家政治をはじめた人は誰ですか。  
 (七) 次の文中の○に適當の文字を書き入れなさい。

又民間にても政治を論ずるもの多く出でて、國民の政治思想おひゞに發達し、速に○○を開かんことを願ふもの相ついであらはれたり。こゝに於て明治○○年に至り、天皇勅を下して來る二十三年を以て國會を開かんことを告<sup>(ママ)</sup>げたまふ。ついで○○○年には<sup>(ママ)</sup>わが國體に基づきて、皇室典範及び大日本帝國憲法制定せられ、○○○の日を以て之を發布したまへり。

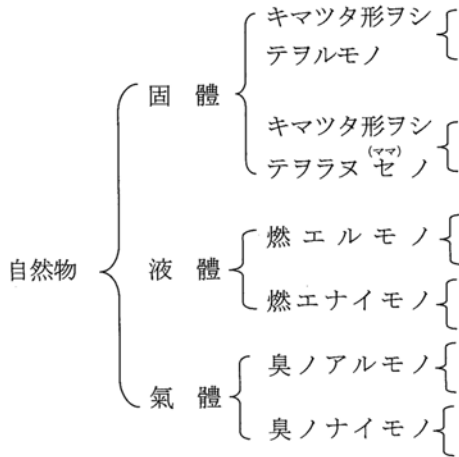
○理 科 (三十分)

- (一) 地上ニハ 何處ニモ空氣ガアルト 云フコトハ、ドウシテ ワカリマスカ。  
 (二) 次ノモノハ何デ出來テ ヲルカ、カツコノ中ニ書キ入レナサイ。  
 1 電燈ノ球ノ中ノ線 2 鉛筆ノ<sup>(ママ)</sup>心 3 墨 4 ペン先  
 (三) 次ノウチ、石炭カラトレルモノニ、○ヲツケナサイ。  
 石炭、 コークス、 セメント、 コールタール、 木炭  
 (四) ゴハン ヲ 口中デカムトキ、甘クナルノハドウイフワケカ。  
 (五) 次ノ植物ハ左ノ表ノ ドノナカマニ ハイリマスカ、ソレゾカツコノ下ニ書キ入レナサイ。

キウリ アブラナ ツツジ ソラマメ イネ ハナシヤウブ タンポポ  
 ノキシノブ ムギ カイサウ

|     |   |               |   |          |
|-----|---|---------------|---|----------|
| 植 物 | { | 花ノ咲クナカマ       | { | 葉ニ網ノヤウナ、 |
|     |   |               | { | スヂノアルナカマ |
|     | { | 花ノ咲カナイナ<br>カマ | { | 葉ニタテニ並ンダ |
|     |   |               | { | スヂノアルナカマ |
|     |   |               | { | 葉莖根ノ區別ノ明 |
|     |   |               | { | カナナカマ    |
|     |   |               | { | 葉莖根ノ區別ノ不 |
|     |   |               | { | 明ナナカマ    |

(六) 次ノ表ニ、アテハマル物ノ名ヲカツコノ下ニ各一ツヅツ書キ入レナサイ。



### 東京府立第三高等女學校

#### ○國 語 科

(一) 次の文を讀んで、三つの問にお答へなさい。

(イ) 案内の手紙として、この文になくてはならない事からは何々で<sup>(ママ)</sup>ずか。

(ロ) 自治體はどういふものですか。

(ハ) 候へばといふ語と候はばといふ語とは意味にどういふちがひがありますか。

拜啓來る八日午後一時半<sup>(ママ)</sup>ふり當村小學校に於て松木信太郎氏の自治の精神に關する講話これあり候同氏は御承知の通り内務省囑託たること多年學理にも通じ實地にも明らかなる人に候へば其の講話は定めて有益なる事と存候貴村にてはかねて自治體の發達に就きて熱心に御研究のやうに候へば御出席御希望の方々も多かるべく御誘ひ合せの上御來會相成<sup>(ママ)</sup>候ては如何御道筋の事故御立寄り下され候はば御案内致すべく候なほ縣廳よりは小杉理事官も見えらるゝはずに御座候草々。

(二) 次の文を讀んで、これはおもしろい、これはよくできたと感じたことをおかきなさい。

#### 日 本 三 景

(一) 緑したゝる山を後に波にたゞよふ朱の廻廊、わたつみの宮それかあらぬか。

みぎはの燈籠皆火をともして、夜の宮島さらに美し。

(二) 與謝の浦波遠く續ける中をかぎりて浮かぶ松原、天の通路絶えしは何時か。

かゞやく日影に神の代おぼえて、朝の橋立殊にめでたし。

(三) 松のあらしはさゝやきあひて、海にちりばふ五百島・千島、如何なる神のなしし巧ぞ。

くしながめは見る間に變りて、雨の松島いよ<sup>(ママ)</sup>珍し。

- (三) 例 { 問題 辛抱 教訓 成功 美點 困難)  
 答 辛抱——成功

右の例にならひ、次の題について、一題ごとにカツコの中から、そのカツコの上の語の結果に當る一つの語を取出して、カツコの上の語と線で續けて、答案にお書きなさい。

- |                         |                     |
|-------------------------|---------------------|
| 1 耕作 (栽培 農業 收穫 荒地)      | 2 研究 (讀書 勉強 學問 發見)  |
| (ママ) 2 奮戰 (砲彈 勝利 勇武 戰況) | 4 豫知 (風雨 天氣 警戒 危險)  |
| 5 掃除 (住居 街路 必要 清潔)      | 6 練習 (努力 使用 熟練 検査)  |
| 7 衛生 (健康 運動 食物 養育)      | 8 貿易 (現狀 國益 販路 交通)  |
| 9 同情 (喜捨 德義 境遇 罹災)      | 10 正直 (信用 人生 利害 興味) |

(四) 次の語をうつし、其の漢字に讀方の假名をおつけなさい。

覺書 赤銅 極印 小姓 仕業  
 連絡 猶豫 圓か 釀す 荒む

(五) 次の文の片假名の所を漢字におなほしなさい。

- 議員のセンキヨは、コウホ者中で、人物も政治上の意見もりつばで、まじめに國の爲にツくし<sup>(ママ)</sup>でくれる人にトウヘウするがよい。
- 車馬の<sup>(ママ)</sup>ワウライシゲく、行人織るが如くなれども、ジュンサのアヒジに従ひてキリツ正しく<sup>(ママ)</sup>カウドウするが故に、少しもコンザツを生ずることなし。

○作 文 (文題 朝)

○算 術 科 (二 時 間)

- (1) 甲乙二人ノ職工ガ共ニ同ジ日カラ貯金ヲ始メ、甲ハ毎日常一圓ヅツ、乙ハ毎日常七十五錢ヅツ貯金スルコトシタ。甲ノ貯金ガ乙ノ貯金ヨリ十七圓多クナルノハ何日ノ後カ。
- (2) 甲乙二人ノ所持金合セテ百圓デ、甲カラ乙ヘ二十圓ヲ<sup>(ママ)</sup>興ヘレバ、二人ノ所持金ガ等シクナルトイフ。各初メノ所持金ハ幾ラカ。
- (3) 或人五百五十圓ヲ十二月十五日カラ翌年ノ二月二十七日マデ貸シ、元利合計五百五十九圓九十錢受取ツタ。日歩何錢何厘カ。  
 但シ借リタ日モ、返ス日モ利息ヲ拂フ約束。
- (4) 道ヲ繕フノニ、二里十町四十八間デ八百九十七圓カカルトスルト、一里ニツキ何ラノ割合カ。又コノ割合デ、五里二十町二十四間ヲ繕フノニ何ラカカルカ。
- (5) 全距<sup>(ママ)</sup>雜ノ初メノ五分ノ二ハ徒歩デ、其餘ハ電車デ通學スル學生ガアル。然ルニ今電車路ノ三分ノ二マデ來タトキ車ニ故障ガアツテ、ソレカラ電車路ニソウテ學校マデ、七町五分ノ一<sup>(ママ)</sup>ダケバ徒歩シタ全距離幾ラカ。
- (6) 内法縦ガ二尺デ、横ガ二尺六寸四分デ、深サガ二尺三寸一分ノ箱ヘーパイ入レタ水ハ幾リツトルデアルカ。
- (7) 一邊ノ長サ二尺ノ立方體ガアル。ソレヤー邊ノ長サー一尺ノ立方體ニ分ケタライクツ出來ルカ。ソシテ出來タ立方體全部ノ表面積ハ合計何程ニナルカ。分ケナイ前ニ比ベテ表面積ニ何程

ノ増減ガアルカ。

- (8) 或人若干金ヲ所持シ、初メニ其六分ノ一デ靴ヲ買ヒ、次ニ八圓デ本箱ヲ買ツタノニ、残りハ切<sup>(ママ)</sup>メノ所持金ノ三分ノ二ヨ<sup>(ママ)</sup>リ五圓多カツ<sup>(ママ)</sup>ク。初メノ所持金ハ何程カ。
- (9) 百二十九圓五十錢デ賣レバ七分五厘ノ損ニナル商品ガアル。コレヲ百六十八圓デ賣レバ利益ノ歩合ハ幾ラカ。
- (10) 五分利附ノ公債ヲ、額面百圓ニツキ八十三圓デ買入レルノト、或會社ノ株<sup>(ママ)</sup>券ノ額面百圓ノモノヲ百六十八圓デ買入レテ、年一割二分ノ配當ヲ受ケルノトハ、何レノ方ノ利廻リガ何程ヨキカ。

○日本歴史 (一時間十五分)

- (一) 徳川吉宗の事蹟を問ふ。
- (二) 武家政治の始と終とについて説明せよ。
- (三) 徳川時代の國學について記せ。
- (四) 次の三について知る所を書け。

(イ) 國分寺 (ロ) 大日本史 (ハ) 林子平

○理科 (一時間十五分)

- (一) 次ノ各ノ物ハ、何ヲドウシテ造ルカ。
- 1 墨 2 えんぴつノしん 3 きはつゆ 4 プリキ
- (二) 1 物ノしんどうノシカタノ<sup>(ママ)</sup>テガヒデ、音ノ強サヤ高サハドウチガフカ。
- 2 とつレンズヲ通シテ向ウガハノ極近クニアル物ヲ見タ時ト、あふレンズヲ通シテ物ヲ見タ時トデドウチガフカ。
- 3 でんじしやくガ、只ノじしやくヨリモ便利ナ所ハ何々カ。
- (三) 1 つつじノはなびらニツイテ書ケ。 2 たけのこハたけノドウイフ部分カ。
- 3 そらまめノをしべニツイテ書ケ。
- 4 おにゆりノ地中ニアル白イ大キイたまハ何カ。
- 5 かノをすトめすトノチガヒヲ書ケ。
- (四) 1 ねずみノまへばニツイテ書ケ。
- 2 すずめガ細イ物ニトマツテ眠ツテモ落ちナイノハドウイフワケカ。
- 3 たこトいかトノチガヒヲ書ケ。
- 4 くわかうがんハ何々ノぐわうぶつカラ出来テ居ル<sup>(ママ)</sup>ガ。
- 5 石油ト水トノチガヒヲ書ケ。

東京府立第六高等女學校

○國語科 (講讀・作文トモデ一時間半)

- (一) 左ノ文ヲ讀ンデ、終リノ問ニ答ヘナサイ。

我が國及び附近に風雨のおそれある時は、中央氣象臺は全國暴風警報を發して之を警戒し、又一地方に荒模様ある時は、測候所は地方暴風警報を發して之を警戒す。警報は信號を以て公示

せらる。本邦内地に於ては、晝間は赤球を以て風の強きを示し、赤圓筒を以て風雨の強きを、赤圓錐を以て暴風雨のおそれあるを示す。夜間は紅燈一個を赤球に、同二個を赤圓筒に、同三個を赤圓錐に代ふ。

- (イ) 測候所で、夜間に紅燈二個を示すのは何の警報ですか。
- (ロ) 晝間、本邦内地の一地方で暴風雨のおそれがある時、どこで、どんな信號を示しますか。
- (二) 左ノ語句ノウケヲ書キナサイ。
- (イ) 自然に備る氣品、犯し難し。 (ロ) 眼界益々開く。
- (ハ) 人々を納得させた。 (二) 豫想以上にできた。
- (三) 左ノ語ノ右ニ、讀ミ假名ヲツケナサイ。
- 布子。 植込。 裝置。 行宮。 象徵。 健氣。 興味。 鮮か。
- 妨ぐ。 促す。
- (四) 左ノ文ノ片假名ノ左ニ漢字ヲ入レナ<sup>(マ)</sup>アイ。
- (イ) 各部のコウザウをセイミツにクワンサツした。
- (ロ) 幾千の聴衆はパウシを脱いで相<sup>マ</sup>ツした。
- (ハ) 燈臺シンセツのヒツエウをカンじて、其のテウサを始めた。
- (二) 晴れやかなエガホや落付いたタイドを見せた。
- (五) (イ) 我ガ國ノ法律及ビ豫算ハ、ドウイフ順序デ成立シマスカ。
- (ロ) 電氣ハ、家庭ニ於テドンナモノニ利用サレマスカ。

### ○作 文 科

文體 我が家。 (口語體)

### ○算 術 科 (一時間半)

- (1) (イ) 次ノ合計ヲ書キナサイ。 (ロ)  $32.47 \div 4.56$ ヲ<sup>(マ)</sup>少 數第二位マデ出シテ殘モ書キナサイ。

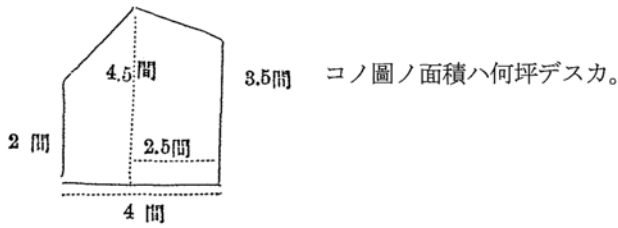
|   |   |   |   |   |        |
|---|---|---|---|---|--------|
| 四 | 五 | 三 | 二 | 一 | 合<br>計 |
| 二 | 〇 | 四 | 〇 | 五 |        |
| ・ | ・ | ・ | ・ | ・ |        |
| 六 | 四 | 六 | 二 | 〇 |        |
| 五 | 七 | 八 | 三 | 八 |        |

- (ハ) 次ノ式ノ□ノトコロニハドンナ數ガアツタラヨイカ。ソレヲ入レナサイ。

$$\frac{3}{8} = \frac{15}{\square} = \frac{\square}{120} = 0.3\square5$$

- (二)  $\left(3\frac{2}{7} + 2\frac{3}{14}\right) \div \frac{1}{2} - 4\frac{1}{5} \times 1\frac{4}{21}$ ヲ計算シナサイ。
- (ホ)  $8\text{畝}18\text{歩} \times 322$ ヲ計算シナサイ。
- (ヘ)  $2\text{日}2\text{時}11\text{分}49\text{秒} \div 13$ ヲ計算シナサイ。

(2) (イ)



(ロ) 5 種ノ線ト、一寸ノ線トヲ書キナサイ。

(3) 鐵道省線三等旅客運賃ハ50哩マデハ1哩ニツイテ2錢5厘、50哩ヲ超エルト100哩マデハ、超エタ哩數ハ1哩ニツキ2錢1厘ノ割デ計算シ、結果ノ1錢未滿ハ1錢ニ切上ゲル。又通行税ハ500哩マデハ1錢デ、100哩マデハ2錢デアル。95哩ノ乗車賃ハ<sup>(ママ)</sup>進 行税トモデイクラデスカ。

(4) 地球カラ月マデヘハ約240000哩デ、地球カラ太陽マデヘハ約ソノ400倍デアル。1哩ヲ0.4093里トスレバ、地球カラ太陽マデハ約何里アリマスカ。

(5) 毎日9時間ヅツ働ケバ20日間ニ出來上ル仕事ヲ、毎日3時間ヅツ多ク働イタラ何日早く出來上リマスカ。

(6) 或女ガ綿入一枚ヲ縫ヒアゲルノニ15時間カカル。コノ女ニ綿入5枚ヲ縫ハセタガ12日ト3時間カカツタ。一日ニ幾時間ヅツ縫ツタコトニナリマスカ。

(7) アル商品ヲ定價ノ5分引デ賣ルト20圓ノ利益ガアリ、定價ノ3分引デ賣ルト24圓ノ利益ガアル。コノ商品ノ原價ト定價トヲ出シナサイ。

(8) 或小學校ノ生徒總數ノ四割七分五厘ハ女生徒デ、男生徒ハ336人デアル。全生徒數ト女生徒ノ數トヲ出シナサイ。

(9) 次ノ數ノ中デ3デモ割り切レテ<sup>(ママ)</sup>デ 2モ割り切レル數ノ下ニ線ヲ引キナサイ。

15, 14, 18, 24, 352, 2052, 2391, 4392

(10) 20ト<sup>(ママ)</sup> I トノ和ヲ8倍シ、ソノ積カラ12ヲ引イタ差ヲ3デ割ル式ヲツノ式デ表ハシナサイ。

#### ○歴 史 科 (一時間)

(一) 次ノ文ノ中ニ誤リアラバナホシ、又アイテ居ル所ニハ適當ナル文字ヲ入レナサイ。

(イ) 空海は聖武天皇の御代に、( ) に渡りて佛教を學び、三年の後かへりて、我が國に日蓮宗を傳へたり。

(ロ) 源頼朝は ( ) に任ぜられて、遂に天下の政治をとるに至れり。その政廳を ( ) といふ。

(二) 下關係約ノ要點ヲ箇條ガキニ書キナサイ。

(三) 次ノ問ニ答ヘナサイ。

(イ) 神武天皇御即位の年月日。

(ロ) 臣下を祭つた神社名二。

(ハ) 我が國の帝都となつたことのある地名三<sup>(ママ)</sup>

(ニ) 蝦夷征伐で名高い人二名。

(ホ) 徳川慶喜に大政奉還をすゝめた人の名。

○理 科 (一時間)

(一) (イ) 左ノ植物ノ内、風ノカデミガ出来ルモノダケカキナサイ。

アブラナ。 マツ。 サクラ。 タンポコ。 ムギ。 クリ。

(ロ) 竹ノみきト、松ノみきトノ、主ナルチガヒヲ三ツカキナサイ、<sup>(ママ)</sup>

(二) (イ) ロと ひげ・はね・あしノ數トノワカルヤウニ、蚊 (か) ノ圖ヲカキナサイ。

(ロ) 次ノ食物ノ主ナル成分ヲ答ヘナサイ。

サツ<sup>(ママ)</sup>トイモ。 トウフ。 牛乳。

(ハ) すゐしやうトガラストノチガヒ<sup>(ママ)</sup>チ<sup>(ママ)</sup>カキナサイ。

(三) (イ) 石灰ハ何故しつくいニ用ヒマスカ。

(ロ) あえんヤアルミニウムニえんさんヲカケルトドウナリマスカ。

(ハ) 次ノモノハ、ドンナ金屬ヲトカシ合ハセタモノデスカ。

はんだ。 しんちゆう。

(四) (イ) ゴムまりヲ熱スルト、ダンムハツテ來ルノハ何故デスカ。

(ロ) 動イテキル電車が急ニ止ルト、乗ツテキル人ノカラダガ、電車ノ進ンデ居タ方ニ倒レヨウトスルノハナゼデスカ。

三輪田高等女學校

○國 語 科 (一時間半)

(一) 左の文の片假名を漢字におなほしなさい。

1 シュウギキンギキンのコウホ者は澤山ありますがセンキヨ人は大に自分の權利をソンチヨウして最もテキタウだと思ふ人物にトウヘウしなければなりません。

2 まぜらんが太平洋をワウダンしてからムジンのハウコは世界に開かれました。

(二) 次ぎの文をよくわかる様に説明なさい、<sup>(ママ)</sup>

3 私事を以て公事をすてず。 2 讀者を<sup>(ママ)</sup>雜<sup>(ママ)</sup>れて新聞はない。

(三) 左の語を用ひて各短文をおつくりなさい。

1 點在、 一段の趣、 さながらに、

2 隨處、 通話、 發達、

3 操る、 やがて、 すさまじい、

(四) 左の歌を普通文におなほしなさい。

鎌倉宮にまうでははきせぬ親王の御恨に悲憤の涙わきぬべし。

歴史は長し七百年興亡總べて夢に似て英雄<sup>(ママ)</sup>基<sup>(ママ)</sup>はこけ蒸しぬ。

○算 術 科 (一時間半)

(1) (イ)  $\left(74 - 48^{(ママ)}, 04 \times 1\frac{1}{4}\right) \times 2.05 \div 1.5$  ヲ小數ニテ答ヘナサイ。

(ロ)  $1.25 \div 2\frac{7}{24} + \frac{8}{33} + 8 - \frac{46}{55} \times \frac{15}{23}$  ヲ分數ニテ答ヘナサイ。

(2) 18, 24, ノ二數ニツキ下ノ問ヒニ答ヘナサイ。

- (イ) 各数ノ約數 (ロ) 公約數  
(ハ) 最大公約數 (ニ) 最小公倍數

- (3) 醫<sup>(ママ)</sup>油9升5合入り一樽ノ價8圓50錢デス。之ヲ小買ヒニスルト一升ノ價1圓5錢デス。一ヶ年間ニ6斗6升5合ヲ要スル家庭デ、コノ醬油ヲ小買ヒニスルト、樽ニテ買フノト一ヶ年間ニドチラガドレダケ利益デスカ。但シ空樽ハ一個35錢ニ賣レマス。
- (4) 正方形ノ運動場ヲ計ツテ見マシタラ、20米平方アリマシタ。何坪アリマセウ。
- (5) 單價2圓50錢ノ品ニ3圓20錢ノ定價ヲツケテ置イテ、コレヲ賣ル時ニ定價ノ<sup>(ママ)</sup>5引<sup>(ママ)</sup>キデ賣リマシタ。利益ノ歩合ヲ計算ナサイ。
- (6) 若干枚ノ書物ヲ讀ムニ、初メノ日ニ其 $\frac{1}{5}$ ヲ讀ミ、二日目ニ其残りノ $\frac{3}{8}$ ヲ讀ミ三日目ニ43枚讀ミマシタガマダ26枚殘ツテ居マス。全體ノ枚數ハイクラデスカ。
- (7) 某市ノ水道料金ハ一ヶ月ノ使用量10立方米迄ハ90錢デ、10立方米ヲ超ユルト、其超ヘター立方米及ビ其端數毎ニ料金5錢ゾツツ増ス。或組合ノ風呂桶ハ長サ(曲尺)5尺6寸1分、幅(曲尺)3尺6寸3分、深サ(曲尺)2尺6寸4分ノ水ガ入り、一回風呂ヲワカス毎ニ凡ソ其二倍ノ水ヲ要シマス。毎夜風呂ヲワカストシテ、一ヶ月ノ水道料金何程ニナリマスカ。

## 二 大正十五年度の入學試験問題と其の後の傾向

大正十五年、昭和二年、二度の試験は其の傾向が同一でありました。前年度來の入學試験難の輿論に對して當局は、如何にかして此の難關<sup>なんくわん</sup>を切り抜きたいと苦慮致したので御座います。其して種々研究の結果、入學試験に對する弊害は、

1. 競争<sup>きやうそう</sup>の劇甚なこと
2. 受験準備<sup>しけん</sup>の盛んなこと

二項であると氣がつき、此の二項に對する案<sup>あん</sup>を研究し出したので御座いました。此れは非常に正しい着眼でありまして、完全に研究されなくてはならなかつたのに、研究盡されなくて、其の後文部省の訓令として中途半端の研究が實現されましてたので御座います。折角のよい萌芽<sup>もえが</sup>が摘み取られて、實に残念で御座います。

しかし此の年の研究は初歩<sup>しよぽ</sup>のものではありましたが、(1)を防ぐために、府立が同一の日に試験を施行し、(2)を防ぐために各學<sup>がく</sup>校<sup>がう</sup>同一の問題を<sup>(ママ)</sup>程<sup>でいしゆつ</sup>出し、しかも問題が非常に平易になつたので御座います。

しかし、私立は従前通り大體に區々たるもので御座いましたが、中には志望者<sup>しぼうしや</sup>の相ひ似た有名な學校は、各々相談の上同じ日に試験を致しました。其れで一體に大正十五年以前から見ますと、統一ある妥當的な試験法<sup>しけんぽふ</sup>へ一步を進めたもので御座いまして、問題の容易になつたことは此の年の特長で御座います。しかし特殊<sup>とくしゆ</sup>の學校の中には相もかはらず仲々難題<sup>なかゝなんだい</sup>が御座いました。武藏高等學校尋常科の、

「四捨五入の結果五となる數は四捨五入の結果二となる數よりも何程大なるか其の範圍を問ふ。」



又東京高等學校尋常科の、

「十二圓八十錢の所得税を得て居る人の所得如何。(規定は示されて居ました)」

「我が本州の輪廓圖をゑがきその中に、長岡、敦賀・呉の三都邑の位置を示し又これらの都邑はどうして發達したか、そのわけを書け。」

などは一例に過ぎませんが、子供に取つて難しい問題で御座います。しかし此の様なのは官立、私立が府立各校と一様に考へられないと言ふ特殊の例で御座いますが、府立は問題が容易になり、各中學校、女學校の特徴ある試験が統一的になつたので御座います。

次に昭和二年と大正十五年とは問題と形式が大同小異で御座いますから大正十五年の問題の一部をかゝけて参考に致します。

### 各府立中學校入學試験問題

#### ○國語科

(一) 左ノ語ニハドウイフ意味ガフクマレテキルカ、二十字以内デ次ノ答ノトコロニ書き入レナサイ。

あなたは、本町の角の大きな時計店の主人を知つてゐますか。あの人があれだけの資産家になるについては、一つの美談があります。明治初年に初めて小さな時計屋を開いたのですが、正直だといふので、信用は高まるし、店は次第に盛になる。數年の後には相當の資本が出来たから、スイスの商人と契約して、時計の輸入を始めた。或時向ふから送つて來た時計の數をしらべてみると、注文したのより一個だけ多いのを發見したので、早速其の事を通知した。此の一事が向ふの商人を深く感動させたのです。それからといふものは、向ふの商人はあの人をすっかり信用して、いろゝ便宜をはかつてくれるやうになつた。これが今日の成功の本だといひます。

|   |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |
|---|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|
| 答 |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |
|   |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |

(二) 左ノ文中\_\_\_\_\_ヲツケテアルトコロノ意味ヲオ書きナサイ。

ピットは病弱の身を以て能く國難に當り、一意國民の愛國心を鼓舞し、名將勇卒を國外に送つて、荒狂ふ獅子のやうなナレポオンを打破ることに力めた。ネルソンがトラファルガーの海戦に、ナポレオンの大艦隊を全滅させたのも此の頃である。惜しいかな天は齡をかさず、四十七歳を一期として、此の天才政治家は世を去つた。當時まだナポレオンの勢が盛で、病床にあるピットは少からず國家の前途を憂へながらたふれた。

(三) 左ノ文字ノ上カ下カニ一字ヲ加ヘテ熟語ヲオ作りナサイ。

- |     |     |     |     |      |
|-----|-----|-----|-----|------|
| 1 記 | 2 紀 | 3 歎 | 4 歡 | 5 儉  |
| 6 檢 | 7 仕 | 8 任 | 9 苦 | 10 若 |

(四) 左ノ文中片假名デ書イテアルコトバニ適當スル漢字ヲ次ノ答ノトコロニオ書きナサイ。

春は梅の花のさく頃から、既にミツバチがクワツドウをカイシする。ツぐいてナの花がさき、

蓮華草がさく頃になると、はちは寸時も休まず、花から花をたづねて働くから、みつが巣箱の巢にあふれる程たまる。そこで此のジセツには、巣箱の上に繼箱といふものをノせる。繼箱はみつをタクハへさせるためのもので、其のコウザウは巣箱とほとんど同じである。飼養者は時機を見て、此の繼箱からみつをとる。

|   |          |  |         |  |
|---|----------|--|---------|--|
| 答 | サ　　く     |  | ミ　ツ　バ　チ |  |
|   | クワツドウ    |  | カ　イ　シ   |  |
|   | ツ　　ゝ　　いて |  | ナ       |  |
|   | ジ　セ　ツ    |  | ノ　せ　る   |  |
|   | タ　ク　ハ　へ  |  | コ　ウ　ザ　ウ |  |

○綴　　方　　我が札

○算　術　科

第　一　問

次ノ計算ヲシナサイ。

- (1)  $\frac{5}{6} + \frac{7}{9} + \frac{1}{15}$                       (2)  $50\frac{1}{12} - 37\frac{3}{8}$                       (3)  $\left(2\frac{1}{6} + 1\frac{2}{3}\right) \times 9$   
 (4)  $7\frac{1}{7} \times 2\frac{1}{10}$                       (5)  $6 \div \frac{2}{7} \div 1\frac{1}{5}$                       (6)  $\left(\frac{3}{8} \div 0.56\right) \times \frac{4}{11}$   
 (7)  $8.675 \times 67.08$                       (8)  $4.375 \div 17.5$   
 (9) 6.5糧平方ノ面積ハ幾平方糧カ。                      (10) 5立方米ハ幾立方糧カ。

第　二　問

次ノ問題ヲ解キナサイ。

- (1) 半径5糧ノ圓ノ中ニ圖ノ如キ三角形 (<sup>マツ</sup>店 邊9糧, 高サ6糧) ガアル。  
 三角形ノ外ノ部分ノ面積ハ何程カ。  
 (2) 内法縦20糧, 横15糧, 深サ16糧ノ箱ニパイニ入レタ水ハ幾リツトルカ, 又其ノ目方ハ幾  
 匁カ。  
 (3) 額面100圓ノ株 <sup>(マツ)</sup>券 ヲ120圓デ買入レ, 此ノ株カラ年一割五分ノ配當ガアルト利廻リハ幾ラ  
 カ。

第　三　問

次ノ問題ヲ解キナサイ。

- (1) 甲乙二人デ二日間ノ旅行ヲナシ <sup>(マツ)</sup>ク。第一日ノ費用10.5圓ハ甲, 第二日ノ費用12.7圓ハ乙  
 ガ出シタ。費用ハ二人デ等シク出ストスレバ甲ハ乙 <sup>(マツ)</sup>コ 何程渡セバヨイカ。  
 (2) 甲乙丙三人ノ持ツテ居ル金ハ合セテ16.64圓デ, 甲ノ分ハ乙ノ分ノ  $1\frac{2}{5}$  倍デアル。丙ノ分ハ  
 乙ノ分ノ  $\frac{4}{5}$  デアル。三人ノ所持金ハ各幾ラカ。  
 (3) 或人所持金ノ中15圓ヲ使ツテカラ残リノ  $\frac{1}{3}$  ヲ費シ, 次ニ又其ノ残リノ  $\frac{5}{8}$  ヲ費シ <sup>(マツ)</sup>ヲ マダ6

圓殘ツタ。初メ幾圓持ツテ居タカ。

(4) 買價1.25圓ノ品ニ其ノ二割ダケ高く定價ヲツケテ定價ノ8掛デ賣ルト幾ラノ益カ又ハ損カ。

○歴 史 科

(一) 「王政古に復る」といふ事はどういふ事かそのわけを書きなさい。

(二) 難波、近江、奈良、京都、東京に都をさだめられた各天皇の御名を書きなさい。

(三) 戦國時代の末京都の大いに衰へて居た時に大義に通じよく忠節をいたした人々の名四人を書きなさい。

○理 科 (其ノ一)

(一) 次のいもは、しょく<sup>(マ)</sup>ぶ<sup>(マ)</sup>つの葉、くき、技<sup>(マ)</sup>、根のどれにあたりますか。

(イ) さつまいも (ロ) じやがいも (ハ) さといも

(二) 次の植物の花粉は、何にはこ<sup>(マ)</sup>ぼ<sup>(マ)</sup>れてめしべの先につ<sup>(マ)</sup>さ<sup>(マ)</sup>ますか。

(イ) まつ (ロ) あぶらな (ハ) つゝじ (ニ) くは (ホ) きり

(三) はちとくもの違ふところを五つおかきなさい。

(四) 火成岩の例を二つ、水成岩の例を三つおあげなさい。

(五) 食物を消化する液(人體から出る)を五つおかきなさい。

(其 ノ 二)

(一) 同じ重さの甲乙二つの球があつて、甲は水に沈み、乙は浮ぶ時、其のかさは、どちらが大きいのですか。

(二) 試験管に水を入れ、上部を熱しても下部は熱くならないが、下部を熱すれば上部まで熱くなる。そのわけをおかきなさい。

(三) 次の物は、何からどうして作られますか。

(イ) アルコール (ロ) 石灰

(四) いわうがもえると、何が出来ますか。

出来たものは、何に用ひられますか。

(五) 赤色のしけん紙を青色にかへるものゝ名二つと、青色のしけん紙を赤色にかへるものゝ名二つとをおかきなさい。

各府立高等女學校

○國 語 科 (六十分)

第一問 次の文中片假名の部分を漢字にお直しなさい。

一、シヤクワイのキリツを尊び、コウシユウのエイセイを重んずるやうにコ、ロガけよ。

二、テイシヤジャウ前には高きタテモノ タチナラび、街路には馬車のワウライ シゲし。

第二問 次の句又は文の意味をお書きなさい。

一、戦況を目撃する。

二、法をまげる。

三、きもを冷す。

四、玉はいつまでも塵の中にうづもれてゐない。

五。<sup>(マ)</sup>旅順の後方の山々は、一として我が同胞の血をそゝぎし地ならざるはなし。

第三問 孔子は正義の念強き人なりき。其の言に曰く、「富貴は人の希ふ所なり。然れども正しき道によるに非ざれば、我<sub>(1)</sub>之に居らず。貧賤は人のいとふ所なり。然れども正しき道によるに非ざれば、我<sub>(2)</sub>之を去らず。」と。

右の文を読んで、次の問にお答へなさい。

一、(1) の「之に」は何を指すか。

二、(2) の「之を」は何を指すか。

三、孔子は何を希はれたか。

第四問 次の文に誤があつたら、どんなのでも皆お直しなさい。(答は其の右にお書きなさい)

一、機械各部の構造を精密に観察する。

二、外国人は租界といふ持別の区域内に任んでゐる。

三、北海道ならでは見られる光景である。

四、日はまだ西へ傾いて、見物の人々は歌々歸り治める。

第五問

日 本 三 景

一

緑したゝる山を後に  
波にたゞよふ朱の廻廊、  
わたつみの宮それかあらぬか。  
みぎはの燈籠皆火をともして、  
夜の宮島さらに美し。

二

與謝の浦波遠く續ける  
中をかぎりて浮かぶ松原、  
天の通路絶えしは何時か。  
かゞやく日影に神の代おぼえて、  
朝の橋立殊にめでたし。

三

松のあらしはさゝやきあひて、  
海にちりぼふ五百島・千島、  
如何なる神のなしし巧ぞ。  
くしきながめは見る間に變りて、  
雨の松島いよ<sup>(ママ)</sup> 珍し。

右の文を読んで、次の間にお答へなさい。

|     |                        |                               |                                  |
|-----|------------------------|-------------------------------|----------------------------------|
|     | 日本三景はそれぞれ何時のながめが殊によいか。 | その殊によいながめといふのは特にどんな點がすぐれてゐるか。 | 日本三景のそれぞれのおもむきを何にたとへてほめたらよいでせうか。 |
| 宮 島 |                        |                               |                                  |
| 橋 立 |                        |                               |                                  |
| 松 島 |                        |                               |                                  |

第六問 次の語句を組合せて、各題一つづつの短かい文をお作りなさい。

一、母 春 二、幸福 必ずしも 三、國家 促す

○算 術 科 (六十分)

注意 (1) ト (2) トハ運算ト答、(3) 以下ハ式ト答ヲ書キナサイ。

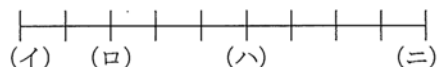
(1)  $342.48 \div 25.6$ ヲ小數二位マデ計算シテ、殘リモ書キナサイ。

(2) 次ノ式ノ計算ヲシナサイ。

$$\left(5.4 - 3\frac{9}{14}\right) \times \frac{7}{14} \div 3 + \left(\frac{7}{17} - 0.35\right) \div 1\frac{2}{5}$$

(3) 縦8間、横7間ノ矩形ガアル、コレト其ノ周圍ノ長サガ等シイ正方形ノ面積ハ幾坪カ。

(4)



上ノ<sup>(ママ)</sup>國ノ各點ノ間ハ長サガ等シイ。

(イ) ニハ學校ガアル、(ロ) ニハ郵便局ガアル、(ハ) ニハ花子ノ家ガアル、(ニ) ニハ春子ノ家ガアル、花子ノ家カラ郵便局マデハ750米アルトスレバ、

一、學校カラ郵便局マデハ幾米アルカ。

二、學校カラ花子ノ家マデハ幾米アルカ。

三、春子ノ家カラ郵便局マデハ幾米アルカ。

(5) 甲地カラ乙地マデハ16軒、乙地カラ丙地マデハ14軒アル、甲地ヲ午前8時半ニ出テ乙地ヲ經テ丙地ニ行クニ、乙地デ40分休ンデ丙地ニハ午後2時10分ニ<sup>(ママ)</sup>著カウトスルニハ、乙地ヘハ何時ニ<sup>(ママ)</sup>著カネバナラヌカ。

(6) 甲ハ95圓、乙ハ65圓持ツテ居ツタガ、其後甲ハ23圓費シ、乙ハ25圓他カラ<sup>(ママ)</sup>貰ツタ。今此二人ガ同ジ金高ヲ持ツヤウニスルニハ、誰カラ誰ニ幾ラヤラネバナラヌカ。

(7) 内法直徑96糎、深サ1米ノ圓筒形ノ器ニーパイニ入レタ水ノ目方ハ幾キログラムカ。

(8) <sup>(ママ)</sup>或仕事ヲスルニ甲一人デハ10日カカリ、甲乙二人デハ6日カカル、此ノ仕事ヲ甲ガ8日ダケシテ殘リヲ乙ガシタ、乙ハ幾日働イタカ。

(9) <sup>(ママ)</sup>8時20分間ニ $203\frac{1}{3}$ 哩進ム汽車ハ一時間ニ何哩行クカ。

(10) <sup>(ママ)</sup>原價25圓ノ洋服ニ其ノ二割ダケ高ク定價ヲ附ケテ定價ノ二割引ニ賣ルト、幾ラノ益カ

又ハ損力。又コノ損益ノ原價ニ對スル歩合イクラカ。

○歴史科（時間三十分）

（一）左のおのゝについて、その人と歴史關係の深い人を一人づつ括弧の中に書き入れなさい。

和 氣 清 麻 呂（ ） 上 杉 謙 信（ ）  
藤 原 時 平（ ） 平 敦 盛（ ）  
中 大 兄 皇 子（ ）

（二）左の事柄を時代順にならべなさい。

武家政治の始 安政の大獄 建武の中興 關原の戦 憲法發布  
佛教の傳來 院政の始

（三）本居宣長について左の問に答へなさい。

- （イ）どこの人ですか  
（ロ）誰の弟子ですか。  
（ハ）どんな學問をしましたか。  
（二）何といふ本を著しましたか。  
（ホ）櫻の花についてどんな歌をつくりましたか。

（四）左の文に事實の誤があつたらなほしなさい。

大石良雄は廣島の藩主淺野長矩の臣なり。長矩大阪城中にて吉良義央にのゝしられ憤にたへずして義央を傷つけしため、幕府は長矩に切腹を命じ、その領地をも取り上げたり。良雄之を聞きて大いになげき、主家の再興を謀りしも成らざりしかば、寛永十五年の夏同志の士四十三人と共に義央の邸を襲ひて、主の讐を復せり。

○理科

（一）つばめを取つていけないといふわけをお書きなさい。

（二）次のものの食用になる部分は何ですか。

- （イ）稻のみ。 （ロ）たけのこ。 （ハ）栗のみ。 （二）わらび。  
（ホ）おにゆりのたま。

（三）次のものは人體のどこにありますか。

- （イ）せきす<sup>(ママ)</sup>ゐ。 （ロ）かんざう。 （ハ）しんざう。 （二）なう。  
（ホ）はい。

（四）でんじしゃくに電流を通ずると、どうなりますか。又電流をたつと、どうなりますか。

（五）次のものは紙又は毛織物にどんな働をしますか。

- （イ）りうさん。 （ロ）せうさん。 （ハ）かせいソーダ。

武蔵高等學校尋常科

○理解力問題

（一）次の文の\_\_\_\_側に漢字を入れよ。

汽車は山や谷の間を「\_\_\_\_\_」よく進んで行き、つひに「\_\_\_\_\_」の上に出た。眼前に「\_\_\_\_\_」

\_\_\_\_\_」された風景は、其の「\_\_\_\_\_」たうてい言語には「\_\_\_\_\_」べ盡くされない。

- (二) 次の文に假名の誤あらば其の右側に正しき假名を書け。

こうして私は其の理由をいろゝと考へてみた。しかし、どうしても、そうゆうはずはない  
だろうとしか思われなかつた。

- (三) 次の文の意味を書け。

努力の効果空しからずして、宿志の果さるゝも近きにあらんとす。其の喜知るべきなり。

- (四) 次の文の意味を書け。

敵の艦列忽ち亂れて、勝敗の数は既に定まれり。敵將、今は逃れぬところと覺悟したりけん、  
其の艦隊を舉<sup>(ママ)</sup> げて降服せり。

- (五) 次の文に事實の誤あらば正せ。

豊臣秀吉は美濃の貧しき商家に生れ、信長死して後、城を京都に築き、又新に皇居を造りた  
てまつり、應仁の亂後三百年間亂れたる日本國中を平定し・更に進んで徳川家康・加藤清正  
を先手として朝鮮を征伐せり。

- (六) 次の文の\_\_\_\_\_側に適當なる文字を入れよ。

安政の假條約は、\_\_\_\_\_が、\_\_\_\_\_。  
\_\_\_\_\_。  
\_\_\_\_\_の五國と結んだのである。

- (七) 北海道の主なる港を三つ挙げよ。

- (八) 次の文に事實の誤あらば正せ。

旅客が京都からフランスに行くには、神戸で汽船に乗り<sup>(ママ)</sup>。天津・上海・香港を経、ハワイ  
に寄り、印度を過ぎ、アフリカの南端をまはり、マルセーユに上陸するのである。

- (九) 次の文に事實の誤あらば正せ。

日本列島の火山脈は、皆列島を縦に走る山系を横ぎり、其の火山は、火口から常に煙を出し  
て居る。此の煙は、ありうさんがすとたんさんがすとからできて居る。

- (十) 光のくつせつとは如何なることか。

#### ○計算力問題

- (1) 次の八つの分数のうち二分の一より小なるものを合計せよ。

$$\frac{3}{10} \quad \frac{6}{11} \quad \frac{5}{12} \quad \frac{7}{15} \quad \frac{9}{17} \quad \frac{9}{20} \quad \frac{13}{23} \quad \frac{11}{30}$$

- (2) 大小二数の和は30にして大数は小数の七割五分よりは5.5大なりといふ、大数を問ふ。

- (3) 封じたる手<sup>(ママ)</sup> 數の郵便料は目方四匁又は其のはしたにつき3錢なり、十匁のものの三本と七  
匁のものの幾本かとにて郵便料51錢を拂へり、七匁のものの幾本か。

- (4) 某驛にて第一回上り電車は午前五時四十五分に發す、上り電車はその後二十五分毎に發す  
るものとすれば午後九時二十一分に此驛へ來る人は何分待ちて第何回目の上り電車に乗るか。

- (5) 或る人甲地より乙地へ行くに初日には全距離の八分の三よりも五軒多く行き第二日には全  
距離の七分の四よりも一軒多く行きて乙地に達せり兩地間の距離如何。

- (6) 内法縦五寸五分横二寸七分深さ一寸三分二厘の箱十一個の容積をリットルにて表はせ<sup>(ママ)</sup>
- (7) 四捨五入の結果5となる数は四捨五入の結果2となる数よりも何程大なるか其の範囲問ふ<sup>(ママ)</sup>
- (8) 或る人北側と西側とが道路に沿へる矩形の土地を一坪につき15圓にて買取りたり北側は12間にして西側は28間なり北西隅の部分北側5間西側4間の矩形の土地を一坪につき25圓にて賣り之に續く北側の部分間口7間奥行12間の矩形の土地を一坪につき20圓にて賣り更に南東隅の部分南側4間東側16間の三角形の土地を隣地の小學校に寄附したり然らば現在持てる殘る土地は結局一坪につき何程にて買取りたることに當るか。

### ○觀察力問題

花崗岩を示し、

- (一) この岩石はいくつのちがつた部分(礦物)からで<sup>(ママ)</sup>さてみますか。
- (二) 各部分のちがひをできるだけ<sup>(ママ)</sup>ばしく觀察して書きなさい。
- (注意) 岩石や礦物の名は書くに及びません。

## 麻 布 中 學 校

### ○國 語 科

#### (一) 解 釋

- (イ) 寂寥の域を脱しない。 (ロ) 非凡の才。
- (ハ) 言々悉く赤心より出づ。 (ニ) ひねもす歌ふ。
- (ホ) 大聖の面目をうかゞふを得べし。

#### (二) 讀 方

- (イ) 輔弼 (ロ) 促す (ハ) 會得 (ニ) 暗礁 (ホ) 市區井然

#### (三) (甲) ハ片假名ニ漢字ヲアテ (乙) ハ誤ヲナホセ。

- (甲) 此のキカイはカカクも安く其の上トリアツカヒもキハめてカンタンである。
- (乙) 道筋に杉を植へたことがあるとゆうような話も残つている。

### ○算 術 科

- (1)  $\frac{11}{14} \div \frac{33}{56} + 8\frac{2}{3} \times \left(3 - 1\frac{10}{13}\right)$ ヲ計算シナサイ。
- (2) 父ト子トアリ、現今ノ年齢ノ和ハ70歳デアル、5年前ニハ父ノ歳ハ子ノ歳ノ3倍デアツタ、現今ノ父子ノ年齢ハ各々幾歳カ。
- (3) 眞鍮ノ重サハ同ジ體積ノ水ノ重サノ8.4倍<sup>(ママ)</sup>デアルト、長サガ1米デ太サガ5糎ノ眞ノ圓イ棒ノ重サハ何匁カ。但シ太サトハ棒ノ切り口ノ直径ノコトデアル、又水1立方糎ノ重サハ1瓦デアル。
- (4) 或ル仕事ヲスルニ甲一人デハ12日カヽリ乙一人デハ18日カカル、此ノ仕事ヲ甲ガ8日ダケシテ殘リヲ乙ガシタ、乙ハ幾日働イタカ。
- (5) 定價50圓ノ品ヲ其ノ1割2分引キデ賣レバ4圓ノ利益ガアル、原價ハ何程カ。



三輪田高等女學校

○國語科(一時間)

(一) 左の文をよんで次の問にお答へなさい。

ニュートンは常に未知の世界の廣大なるを思ひて、「我は海岸に立てる少年の如し。わづかに珍らしき貝、美しき小石などを拾ひ得たるのみ。眞理のきはまりなき大洋は、未だ研究せられずして我が面前に横たはれり。」と言ひたり。

(イ) 珍らしき貝、美しき小石といふのは、何をさしてゐるのですか。

(ロ) 眞理のきはまりなき大洋とは、何をさしてゐるのですか。

(二) (イ)「我國の文學上に不滅の光を放つ」といふのはどういふことですか。

(ロ)「あたらつばみの花をちらす」といふのは何をたとへたのですか。

(ハ)「新聞の編輯」とは、どんな仕事をいふのですか。

(三) 左の語を用ひて各短文をおつくりなさい。

(イ) (抱負、 憤然、 更に)

(ロ) (ゆきなやむ、 開發、 活氣を呈す)

(ハ) (歴史を飾る、 兼備)

(四) 左の文をよんでまちがひがあつたら取り出しておなほしなさい。

(イ) 平時に於て事變に處するの道を覺悟し置かば、時にのぞみて見苦しき行をなすことあらん。

(ロ) 家康、勝商をして信長に見えて長篠城の急をつぐ。

(五) 左の文のかたかなのところを漢字におなほしなさい。

(イ) 劉備死するにノゾみて後事を孔明にタクし、一切をアゲてイのままに行はしむ。

(ロ) 發動機のバクオンが盛にヒビいて大東號は我を待つてゐる。大島君がサウジユウ席から「オソかつたね。早く乗り給へ」といかにも落付いたタイドで言ふ。

(マ) 遷算術科(一時間)

注意 一番ハ運算ト答、二、三、四、五番ハ式、運算、答ヲカキナサイ。

(1)  $\left(\frac{2}{5} + 7.5 + 1.25\right) \div \left(18.1 - 5\frac{1}{2} \times 3\frac{1}{5}\right)$

(2) 姉妹三人栗拾ヒニ行キタリ、長子ノ拾ヒタル數ト次子ノ拾ヒタル數トノ和ハ160個、次子ト末子ノ拾ヒタル和ハ104個ニシテ末子ハ次子ヨリ16個少シト、各何個ヅツ拾ヒタルカ。

(3) 某校ニテ生徒487人ニ種痘ヲナシタルニ其人數ハ全校生徒數ノ0.63ヨリ80人少シト全校生徒數ヲ問フ。

(4) 鯨尺2丈9尺7寸ノ反物ヲ以テ姉妹二人ノ衣服ヲツ克蘭トスルニ其割合ヲ2ト1トノ如クナサントス、各何米ヅツナルカ。

(5) 甲乙二人アリ、甲ハ750圓ヲ有シ、乙ハ若干圓ヲ有セリ、而シテ甲ハ其 $\frac{1}{3}$ ヲ乙ニ與ヘ、次ニ乙ハ貰ヒシ後ノ所持金ノ $\frac{1}{5}$ ヲ甲ニ與ヘタルヲ以テ甲ノ所持金ハ670圓トナレリ、初メ乙ノ所持金何程カ。

### 三 入學試験廢止の運動と文部省の訓令

また記憶に新しい事では御座いますが、昭和二年の秋からかけて昭和三年の春まで、各地の大新聞は中等學校入學試験難について、試験地獄と言ふ大太鼓で、毎日々々天下の事件は只此れ許りであると言つた調子で、書き立てました。各新聞としては試験を如何にか合理的にしたい、出来得べくんば廢止したい（素人考へであつて廢止は出来ない）と思つて警鐘を亂打したつもりでありましたらう。しかし其の結果は。

(ママ) I、試験をすることは曲事である。

2、試験準備は曲事である。（小學校の受験準備と家庭の受験準備と混同せり。）

と言ふ二つの誤つた思想を植へつけてしまひました。其して此の様な新聞の太鼓に引きづられた民衆の思想は、試験と言ふものは存在すべきでないのに存在して居る、一日も早く試験を廢止しなくてはならないと言ふ方面に動いて参りました。

各新聞には試験悲劇が次から、次へと掲げられ、尤もらしい局長さん課長さん、校長さん、方の「お話し」が姑が嫁の缺點を探す様な態度で試験の醜い方面丈を数え上げました。されば此の時代の民心は深くも考へないで此の風潮にのせられて、試験の廢止を叫んだので御座います。缺點があれば嫁はどんなににでも取り代へる事は出来ませんが、息子むすこの存在して居る限り、どんな嫁でも嫁なしにしておくことは姑には出来得ない事で御座いませう。其れを出来ると誤算して、此の誤算が行政上の事實として出現することを切望致しました。時の文部大臣水野練太郎氏は此の風潮を民心の向ふ所と思惟し、何か一功名をと考へて居た山崎政務次官は時こそ來れと此の問題の解決に力こぶを入れたので御座います。併し研究して見ると廢止は不可能であると氣がつかしました。けれども此の民心を新にし功名を収むるにはどうしても何等かの方法を講じなくてはなりません。時に恰も注文した様に市立一中が前章の様に表面的に試験をしない實例をもつて居り、府立の八中が小學校成績に重きを置く實例を有して居りました。今まで省みられなかつた小學校の内中書にと氣のついたのは尤もな話で御座います。けれども此れは大きい誤算で御座いました。東京市五十萬の女全部が斷髪で御座いましたなら、斷髪は決して珍らしいものではありませんが、五十萬の中百人が斷髪でちづれ毛にして居りますが故に、此の百人が超モダン式に見ゆるのであります。此の點が考へ所で御座います。ちづれ毛其れ自體ど、日本髪との觀賞美的價值の問題ではなく、ちづれ毛にする道具なり美容師なりの價值が五十人中百人の場合と五十萬人中四十九萬九千九百九十九人の場合とでは、天地雲泥の差が御座います。全中等學校が小學校成績を以つて入學を許す場合と、一中等學校が小學校成績で入學を許す場合とでは、事實其の成績證の價值に莫大の相違が御座います。事いやくも教育の事に關する以上、髪かみの道具や美容師と日を同じうして語かたることを許しません。其の一品、一人にでも不正と邪惡とを許すことは出来ないで御座います。此の様に民心の誤算の上に行政官の誤算が加へられて次の様な訓令が昭和二年十一月二十二日に發せられ、たので御座います。

㊦ 文部省訓令第十九號

北海道廳府縣

今般文部省令第二十六號ヲ以テ中學校令施行規則中ニ改正ヲ加ヘタリ左ニ其ノ旨要ヲ擧ケ且實施上注意スヘキ事項ノ大要ヲ示サン。

現行制度ニ於テ<sup>(ママ)</sup>ヘ中學校第一學年<sup>(ママ)</sup>人學志願者ノ數入學セシムヘキ人員ヲ超過スル場合ニハ試験ニ依リ<sup>(ママ)</sup>テ入學者ヲ選抜スヘキコトヲ規定シ其ノ他ノ中等學校ニ於テモ多クハ學則等ヲ以テ同様ノ規定設ケ多年ノ間入學者選抜試験ヲ實施シ來リタレトモ之ニ伴フ弊入學ノ場合ニ於テ最モ然リトス抑々小學校教育ハ兒童ニ對シ道德教育及國民教育ノ基礎ヲ授クルト共ニ其ノ身體ノ發達ニ深く留意スヘキハ多言ヲ要セス然ルニ其ノ卒業ノ後中等學校ニ入學セントスル者<sup>(ママ)</sup>ル觀ルニ小學校在學中ヨリ只管之カ準備ニ没頭シ知ラス識ラスノ間ニ其ノ心身ノ發達ニ惡影響ヲ及ホスハ國民ノ將來ニ對シ洵ニ寒心ニ勝ヘサルナリ加之コレカ爲ニ國民教育精神ニ背戾シ小學校教育ノ本旨ヲ沒却スルニ至リテハ最モ深く憂フヘキ所ナリ入學試験ニ伴フ弊害前述ノ如シトセハ其ノ制度ニ對シ<sup>(ママ)</sup>政 正ヲ加フルハ刻下ノ急務ナリトス。

今回ノ<sup>(ママ)</sup>政 正ハ中等學校ノ入學者ヲ選抜スルニ從來ノ如キ試験ハ之ヲ行ハサルコトヲ以テ本體トシ中學校令施行規則第四十三條ノ二ヲ削除セリ而シテ之カ選抜ニ當リテハ主トシテ出身小學校ニ於ケル成績等ニ據リ更ニ人物考查並身體検査ヲ用ヒテ入學者ヲ決定スヘキモノトセリ尚其ノ實施ノ細目ニ至リテハ別ニ示所アルヘク各學校ニ於テハ之ニ基キ學則等ノ改正ヲ行ヒ實施上遺憾無キヲ期セシメラルヘシ尤モ其ノ示所ハ選抜方法ニ關スル準則ニシテ地方及學校ノ情況ニ依リ特別ノ必要アル場合ニ於テハ改正ノ本旨ニ反セサル限り事情ヲ斟酌シ適當ナル選抜方法ヲ採ルヲ妨ケサルモノトス。

又中等學校ニ於ケル教育ノ旨趣ヲ貫徹セシメントスルニハ生徒ヲシテ一意専心所定ノ課程ヲ學習セシメサルヘカラサルニモ拘ラス從來學期及學年ノ試験ヲ實施スルカ爲ニ動モスレハ生徒ヲシテ一ニ試験ノ爲ニ勉學セシムルカ如キ弊モ少シトセス依テ自今生徒ノ成績ハ平素ノ修學ニ重キヲ置キテ之ヲ考查シ又之ニ依リテ修了若ハ卒業ヲ定メ一層自學自考ノ氣風ヲ養成セシムル旨趣ヲ以テ中學校令施行規則第四十七條ヲ改正セリ。

高等學校、專門學校、實業專門學校等ノ入學者選抜方法ニ關シテハ中等學校ト多少其ノ趣ヲ異ニス其ノ志願者ノ年齡相當ニ長シタルコト、其ノ出身學校全國ニ互ルコト、其ノ出身學校ノ種類等ノ必スシモ一致セサルコト等ノ事情ニ鑑ミ或度マテ選抜試験ヲ行フノ必要ヲ認ムルト共ニ志願者ノ出身學校ニ於ケル成績等ヲ重シ之ヲ選抜試験ノ成<sup>(ママ)</sup>績ト對照シ之ヲ以テ入學者選抜ノ基準トセリ又其ノ學期及學年ノ試験ニ就キテモ中等學校ノ場合ト事情ヲ異ニスルヲ以テ一般ニ之ヲ禁止セサルコトトセリ。

今回改正ノ旨趣右ニ述フルカ如キヲ以テ教育當事者タル者宜シク協心戮力シテ實效ヲ收メンコトヲ期スヘク而シテ之カ爲ニハ學校當事者ハ嚴正公平情實ニ捉ハルルコトナク監督ノ局ニアル者亦克ク此ノ旨趣ヲ諒シ學校當事者ヲシテ其ノ職責ヲ完ウセシムルニ於テ遺憾ナキヲ期セラルヘシ

昭和年<sup>(ママ)</sup>二十一月二十二日

文部大臣 水 野 練 太 郎

右を大別致しますれば

第一段 目的指示

第二段 中等學校入學試験の弊害の大なることの言明

第三段 受験準備の弊害として兒童心身内への悪影響と小學校教育の本旨の没却

第四段 (主眼) 中學校令施行規則・第四十三條の二削除と選抜法 (小學校の内申と人物考査  
身體検査によること)

第五段 中學校に於ける學期學年試験の廢止

第六段 高等學校專門學校實業專門學校の入學試験規定

第七段 旨趣の徹底に對する訓令

第四段に述べてあります様に此の訓令で選抜方法が明示<sup>めいし</sup>されたので御座います。

此處に始めて、數ヶ月の紛糾を重ねて來た入學試験にある種の方針<sup>ほうしん</sup>が立つたと申すもので、事實として昭和三年度以後の試験に現はれて參りましたので御座います。

#### 四 新制度の試験と昭和四年の入學試験問題

前節の訓令の第四段に

- 1、小學校長の内申書
- 2、人物考査
- 3、身體検査

の三手段によつて入學<sup>にうがく</sup>を許可せよと明示してあります。此行<sup>このぎやう</sup>に於いて昭和三年度には、小學校長の内申書によるか人物考査によるか問題になつたので御座います。内申書をどう取り扱ふか又人物考査をどうするかと言ふ細<sup>い</sup>日<sup>(ママ)</sup>になりますと、文部省側<sup>もんぶしょうがは</sup>では「訓令は一般のよ<sup>(ママ)</sup>り所<sup>しめ</sup>を示した試験をしてはいけない」と言ふ莫然とした話で中等學校側も大變迷つてしまひました。其の結果

- 1、小學校長側の内申を尊敬して入學を許可する學校
- 2、人物考査を口問口答にして其の人物の考査を主として入學を許可する學校
- 3、前二項を併用して許可する學校

と言つた様な三種類の試験が行はれました。東京高等學校武藏高等學校府立一中四中六中邊では小學校長の内申書が意味をなさなかつ<sup>(ママ)</sup>か<sup>(ママ)</sup>様で御座いますが、しかし大體は文部省の訓令に、出來得る限り忠順<sup>ちゅうじゆん</sup>であつた様に思はれます。しかし、前にも申しました通り優秀生選抜法<sup>いいうしうせいせんぱつほう</sup>として不完全な此の選抜法は、面白くない結果を中等學校にもたらしました。其の上に實際の問題となつて見ますと、小學校長の内申書に「故意の内申書が多い」と言ふことを中等學校側で觀破<sup>くわんぱ</sup>致しました。内申書によらないと致しますと、口問口答式の人物考査で御座いますから不完全な選抜法で御座いまして、思ふ様な結果を得られないのは明らかで御座います。其れに試験地獄に代はるに情實地獄<sup>じやうじつぢごく</sup>と言ふ聲が一般の中に生れ參りましたので昭和四年になりますと、そろそろ脱法行爲的に内實は舊制の試験で形式は新制と言ふ試験傾向になつて參りました。其の様式は舊制度<sup>きうせいど</sup>の試験をした所では試験と言ひませんで、

「筆 問 筆 答」

と申しました。又舊制度の試験をしたいが文部省に悪いと言ふ學校では、

「口 問 筆 答」

と言ふ不完<sup>ふくわんぜん</sup>な試験法を編み出<sup>だ</sup>しました。此れは六十人程<sup>いちぢうしつ</sup>を一教室に入れておいて一教師が問題を刷<sup>わた</sup>つて渡す代りに讀<sup>よ</sup>むので御座います。昔の試験とは確かに變<sup>を</sup>つて居ります。問題<sup>もんだい</sup>を讀んでやる所と刷<sup>わた</sup>つてやる所とは。

しかし其れでは文部省に對して辯<sup>べん</sup>解<sup>かい</sup>がたゝんと思つたのでありませうか。大抵は、

「口 問 口 答」

と申しまして一人宛種々<sup>しゆしゆ</sup>な質問をする考<sup>かう</sup>査<sup>さ</sup>が一部として<sup>つ</sup>行<sup>(ママ)</sup>はれたので御座います。昭和四年度に口問口答のみによつた學校は一二校より御座いません。府立の第六高等女學校は内申書と極く簡単な口問口答とによつたので御座いますが其の考<sup>かう</sup>査<sup>さ</sup>が不完<sup>ふくわんぜん</sup>なものであつた爲でしたのでせうか、次の様な滑稽な事を、眞面目に考へて居る人に二人三人出遇つた事が御座います。

「私の所の娘<sup>むすめ</sup>は飛越台<sup>とこ</sup>を飛べませんでしたので落第致しました」と。

随分妙な間違<sup>まちが</sup>ひも起つたもので御座います。

以上の様な傾向を試験問題として次に示します。

東京高等學校 (尋常科)

■ 口 問 筆 答

(算 術 科)

- (1) 或數ヲ0.99デ割ツタ數ト或數ノ1.01倍トノ差ハ3デアル或數ハイクラカ。
- (2) 金6000圓ヲ1年半、年利5分デ預ケ半年毎ニ利ヲ元ニ繰入レル時ニ得ル利息ヲ、單利法ニヨツテ同期間同利率ニテ得ルニハ元金イクラニスベキカ、但シ錢末滿ハ四捨五入。
- (3) 10ℓノ水ヲ半徑10 Cm<sup>(ママ)</sup>ノ圓筒形ノ器ニ入レルト深サハ何程ニナルカ、但シ Cm<sup>(ママ)</sup> 未滿ハ切捨テヨ。
- (4) 半徑1mノ圓ト其ノ圓ト同ジ周ヲモツ正方形ガアル圓ノ面積ハ正方形ノ面積ノ幾倍カ。
- (5) 甲乙二ツノ鐘ガアル甲ハ12時間毎ニ、乙ハ2.5時間毎ニ打ツ、同時ニ打ち始メ甲ガ50回<sup>(ママ)</sup>行ツ間ニ乙ハ何回打ツカ。
- (6) 甲乙二人ガ周圍540mノ競走場ヲ一周スルニ甲ハ1分48秒、乙ハ2分15秒ヲ要ス、今甲乙同時ニ同方向ニ向ツテ違ツタ所ヨリ出發シ同時ニ甲ハ乙ノ出發點ヘ。乙ハ甲ノ出發點ニ達シタ尚續イテ走ルナラバ甲ハ乙ニ始メヨリ何分デ追ヒ付クカ。

(參考) 筆答ニ要スル時間ハ正味60分、1題10分ノ割合ナリ。問題は二題毎にくぎりをつけ答案を提出せしむ。

(國 語)

(一) 解 釋。

(イ) 花ヲ催ス雨。 (ロ) 彼ニ如ク者ナシ。

(二) 書 取。

- (イ) イツパン。 (ロ) コウシ (コウジ)。 (ハ) タダチニ。 (ニ) マウシコム。  
(三) 誤リヲ正セ。

- (イ) 暴風驚報。 (ロ) 雷 信。 (ハ) 側侯所。 (ニ) 汽象臺。

(理 科)

- (一) 電鈴ノ略圖ヲ畫キ其ノ鳴ル理由ヲ書ケ。  
(二) 銅ノ鍋、鐵ノバケツガ何故イケナイカ。又ドウスレバヨイカ。

(國 史)

- (一) 橿原神宮ハ何山ニ在ルカ。  
(二) 誰ガ祭ラレテアルカ。  
(三) 建國トハ何カ。  
(四) 橿原神宮ニ参詣スルト何故昔ノ事<sup>(マ)</sup>カ 思ヒ出サレルカ。

☒ 口 問 口 答

- (一) オ前ノ受験番號ハ。  
(二) 修身 (沈勇)  
(イ) 自分ガ此ノ場合ニ會ツタトキドウスルカ。  
(ロ) 此ノ人ノ名ヲ言ヘ。  
(ハ) コウ言フ人ハ何ノアル人ト言ヒマスカ。  
(三) 國史 (聖德太子) 御事蹟ヲ言ヘ。  
(四) 理科 (水成岩)  
(1) 何ウシテ出来タモノカ。 (2) 形ヲ言ヘ。 (3) 種類ヲ三ツ言ヘ。  
(五) 地 理 太平洋ト日本海トノ航海ノ便否ヲ言ヘ。

東京府立第一中學校

府立第一中學校では口問筆答による入學考査を十日に施行しました<sup>(マ)</sup>、(時間は六十分で一問につき五分宛とし最後に十分間の整理時間を與へました。)

☒ 口 問 筆 答

- (一) 東<sup>(マ)</sup> 東 から「ハルピン」まで成るべく鐵道線によりて旅行するには何線によりますか。  
(二) 徳川光圀は何時頃の人で、其のした仕事を二つ書きなさい。  
(三) 鏡に物が寫つて見える譯を書きなさい。  
(四) 人の體温は普通何度位ですか、又それが夏も冬も變らぬのは何故ですか。  
(五) 年一割二分の配當のある五十圓拂込濟の株券一枚を五十五圓で買うた人がある、其利廻は何程ですか、式と答とを書きなさい。  
(六) 絹三反と木綿七反と同じ値段であるとき、各二反宛買うて合計四十圓を拂うた、各一反の値は何程ですか、式と答とを書きなさい。  
(七) 甲は百圓、乙は十七圓を持つて居るが、甲から乙へ何程を與へると甲乙等しくなりますか、式と答とを書きなさい。

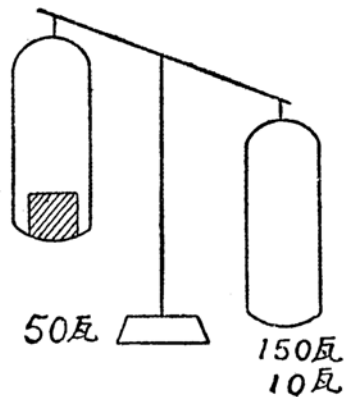
- (八) 今文章ヲ二度讀ムカラ其後デ成ルベク漢字デ其文章ヲ書イテ後其意味ヲ説明シナサイ。  
せきせいをもつてことをなさばせいはいはとふにたらず。
- (九) 今文章ヲ一度讀ムカラ二度目ニ讀ムトキニ成ルベク漢字デ其文章ヲ書キナサイ。  
ていこくぎくわいのにんむは、はふりつおよびよさんをぎていするにあり。
- (一〇) 日の丸の旗と云ふ題で文を作りなさい。

### 東京府立第四中學校

一室平均三十名づゝ入れて次の口問口答を行つた。第四問から七問までの問題中の数は別紙に認めて置いて、口問と同時に示した。一人の問答の時間は約五分乃至七分であつた。

#### ◆ 口 問 口 答

- 第一問 昨年御即位式の行はれたのは何處ですか。  
京都は何天皇の時に都になりましたか。  
東京から京都に行く間の一番大きな都會は何處ですか。  
それは何縣にありますか。  
その名古屋市にある一番有名な神社は何ですか。
- 第二問 (花崗岩を示して)  
此の岩石は何といひますか。  
此の岩石中黒いのは何ですか。  
白い部分は何ですか。
- 第三問 (ブリキとトタン引きの鐵板を示して別々に)  
これは何ですか。  
これはどうして造つたものですか。
- 第四問 一邊が六米の正方形の面積は一邊が二米の正方形の面積の何倍ですか。
- 第五問 或書物の四分の一だけ讀んだが、まだ九十頁残つてゐます。何頁讀んだのでせう。
- 第六問 兄弟二人と母と祖母との四人が一所にゐます。兄は十二歳で弟は九歳です。母の年齢は兄弟のどちらでも割り切れ祖母の年齢も亦兄弟の年のどちらでも割り切れます。母と祖母とは何歳ですか。
- 第七問 (圖を示し品物を指して「此の目力を聞くのです」と豫告し)  
天秤の左の皿に品物がのせてある右の皿に百五十瓦の分銅をのせると右がさがりました。  
[。]それから左の皿に五十瓦の分銅を足して見たら今度は左がさがりました。再び右の皿へ十瓦の分銅を足したら右がさがりました。此の品物は何瓦と何瓦との間の重さがあるものでせう。



■ 口 問 筆 答

- (一) 秀吉の話を読み聞かせて其の大意と所感とを筆答せしむ。  
 (二) 「先生の御恩に就いてお書きなさい」に就き筆答せしむ。

東京府立第八中學校

府立八中では國語、地理、歴史を含んだ筆問筆答を四十分、算術、理科を含んだ筆問筆答を四十分行った。

■ 筆 問 筆 答

試験其の一 (四十分)

- (一) 次の○の中にア行とワ行の假名を書きな<sup>(マ)</sup>さい、

ア ○ ウ ○ ○

ワ ○ ウ ○ ○

- (二) 次の語の中の適當と思ふものを二字づゝ組合せて熟語を四つ作りなさい。

生、非、律、常、活、通、規、普

- (三) 次の言葉はどう読みますか、讀方を書きなさい。

危険、紹介、興味、警戒、濱邊、手傳、物語、番茶、達者、煙草

- (四) 次の文の片假名の部分を漢字で( )の中に書きなさい。

あのセイネン( )が私のシツ( )にはいる前、先づキモノ( )の  
 ほこりをハラ( )、<sup>(マ)</sup>ひはいるとシツ( )かに戸をしめました。きれいず  
 きで、つゝしみ深いことは、それでよく分りました。ダンワ( )のサイチュウ  
 ( )に一人のラウジン( )がはいつて來ましたが、<sup>(マ)</sup>それを見るとすぐ立  
 って、イス( )をゆづりました。人にシンセツ( )なことはこれでも知れ  
 ると思ひました。

- (五) 次の言葉を一つづゝ使つて五つの短文を作りなさい。

(イ) 頗る。 (ロ) 多小。 (ハ) 以來。 (ニ) 案外。 (ホ) ながら。

- (六) 皇大神宮にはどなたをおまつりしてありますか。



- (七) 第一代の天皇は何天皇と申上げますか。  
 (八) 仁徳天皇の都は何處でしたか。  
 (九) 桓武天皇の勅によつて蝦夷を征伐した將軍は誰ですか。  
 (一〇) 川中島の戦は誰と誰との戦ですか。  
 (一一) 徳川光圀は何といふ歴史の書物を書きましたか。  
 (一二) 東京に都が移つてから今年まで何年位になりますか。  
 (一三) 憲法の發布されたのは明治何年ですか。  
 (一四) 明治天皇の御代に於ける二大戦役とは何と何ですか。  
 (一五) 次の人を年代順にならべなさい。

菅原道真、 徳川家康、 源頼朝、 藤原鎌足、 豊臣秀吉

- (一六) 日本に富士山より高い山がありますか。  
 (一七) 日本の第一の輸出品は何ですか。  
 (一八) 我が國の大都市を六ツあげなさい。  
 (一九) 日本人は南米のどの國に一番多くゐますか。

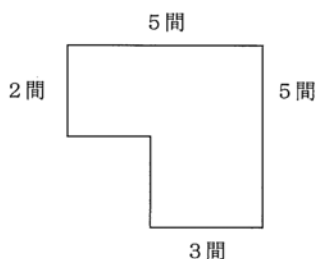
又其の國から何が一番多く産出されますか。

- (二〇) 次の都市は何國の首府ですか、其の國名を下にお書きなさい。

(イ) わしんとん。 (ロ) ぱりー。 (ハ) ろーま。 (ニ) ろんどん。  
 (ホ) べるりん。

### 試験其の二 (四十分)

- (1)  $0.18356 \div 0.706$ を計算しなさい。  
 (2)  $\frac{2}{9}$ と0.24とはどちらが大きい。  
 (3) 10cmの10000倍は幾mか。  
 (4)



この圖のやうな地所は何坪か。

- (5) 今日の午前9時19分から明日の午後2時半までは何時何分あるか。  
 (6) 日歩1錢2厘とはどういふ意味か。  
 (7) 一邊が1mある正方形の周と、直徑が1mある圓の周とはどちらがいくら長い。  
 (8) 學校で生徒の體格検査をしたら全體の $\frac{3}{8}$ は甲で $\frac{5}{12}$ は乙で残りは丙であつた、丙のものは全體の何分の何か。

(9) 往復自動車賃5圓60銭、復は往の6割なるとき往賃金如何程か。

(10)  $\left(8\frac{1}{3}+0.75\right)\times\frac{4}{9}$  を計算なさい。

(ママ) (一一) 電氣を應用したものにどんなものがあるかそれを五つかけ。

(ママ) (一二) ハナビを遠くから見ると、あとから音が聞えるのは何故か。

(ママ) (一三) 石灰水にクダで呼氣をふきこむとどうなるか。

(ママ) (一四) 人の胸及び腹の中にある大切な器官の名をかけ。

(ママ) (一五) カヒコの一代に變化するじゅんじよをかけ。

## 府立高等學校尋常科

### ■ 筆 問 筆 答

(一) これはゝゝゝとばかり花の吉野山といひし古人の句我をあざむかず。

コノ「文中我をあざむかず」トイフノハドウイフワケ(意味)デスカ。

(二) 一島未だ去らざるに一島更にあらはれ水路極るが如くにしてまた島轉じ海廻りてその盡くる所を知らず。

コノ文ヲ書イタ人ハドコデドンナ風ニシテコノ景色ヲ見テキタノデセウカ。

(ママ) (三) 助左衛門はどう〔に〕かして此等の人々を納得させようと<sup>(ママ)</sup>熱心に説いて廻つた。

助左衛門は此等の人々を納得させようと熱心に説いた。

コノ二ツノ文ハ意味ガドウイウ風ニ違ヒマスカ。

(四) 横濱ト神戸トハ外國貿易ノ上デドンナチガヒガアリマスカ。又ソノチガヒノアルノハドウイフワケデスカ。

(五) 支那ノ鐵道ハ大テイ南北ニ通ズル幹線が發達シテキマスガ。<sup>(ママ)</sup>ソレハドウイフワケデスカ。

(六) 徳川幕府ノ末頃ニ諸外國ト結バレタ通商條約ハドウイフモノデシタカ、又ソレハ後ニドンナニカハリマシタカ。

(七) 二〇カラ四〇マデノ整数ノ内デ二八ヲ割り切ル數ハ何々デスカ。

(八) 或ル本ヲ讀ムノニ初日ニハ全體ノ $\frac{3}{7}$ ヲ讀ミ次日ニハ初日ノ $\frac{3}{4}$ ヲ讀ンダガ尚四二頁ダケ殘ツタ、コノ本ハ何頁アリマスカ。

(九) 五萬分ノ一ノ地圖ノ上デー〇「センチメートル」アル距離ヲ一時間一五里ノ速サノ汽車デ行クト何分カヽリマスカ、<sup>(ママ)</sup>(分以下ハ四捨五入)

(十) 赤色ノガラス板ヲ通シテ白紙ヲ見ルト赤ク見エルノハナゼデセウカ。

(十一) ねづみノ前齒ノ特徴ヲ説明シナサイ。

## 武藏高等學校(尋常科)

### ■ 筆 問 筆 答

(計 算 力) (50分)

(1) 毎日一人ガ0.95リットルツツ食ベルト385人270日分ノ糧食ガアル、コレヲ105人デー一人ガ毎

日1.1リツトルツツ食ベルト幾日分アルカ。

(2) 甲乙丙三種ノ茶ガアル甲ト乙トノ價ヲ平均スルト1kg3圓62錢トナリ、甲乙丙ノ價ヲ平均スルト1kg3圓<sup>(マ)</sup>錢トナル丙1kgノ價ハ幾ラカ。

(3) 一枚ノ長サ98cmアル障子紙ヲ136枚ツギ合シタラ全體ノ長サハ幾センチメートルトナルカ。ツギメヲ0.45cmトシテ計算セヨ。

(4) 2圓15錢ニ賣ルト一割四分ノ損ガアル品ヲ一割八分儲ケテ賣ルニハ賣價ヲイクラニスレバヨイカ。

(5) 或人が財産ヲ3人ノ子ニ分ケルノニ、次子ノ分ハ長子ノ分ノ $\frac{5}{7}$ トナリ、末子ノ分ハ次子ノ $\frac{5}{7}$ トナルヤウニシタラ、長子ノ分ガ末子ノ分ヨリモ31200圓多カツタ、三人ノ分前ハ各何程カ。

(6) 1平方米30圓ノワリデ、160平方米ノ住宅ヲ建テルツモリデ、其ノ金ヲ用意シタ、建テル迄ニソノ金ノ内100圓ヲ商人ニ貸シタガ返シテクレナカツタ残リヲ銀行ニ預ケテ利息57圓ヲ得タ、此元利合計デ家ヲ建テタガ1平方米ニツキ25圓シカイラナカツタカラ、初ノツモリヨリ14平方mダケ廣クシタ、イクラ金ガ残ツタカ。

(観 察 力) 三十分

(一) この二粒の籾を大きく書いて其の各部を明に表しなさい。(芽の出かゝた二種のもみを試験管に入れて示す)

(二) この二粒の籾のどこがどんなに異つてゐるかを答へなさい。但色のちがひは答へるに及びません。

(理 解 力) (一時間)

(一) 左の文中の——を本字で書きなさい。

着古した黒い地のしごとぎをほぐし<sup>(マ)</sup>で見ると黒い絲が所々白くなつて居るので、黒と白のまだらな絲で織れば、きつと面白いもやうの織物ができるにちがひないとかんがへた。

(二) 加藤清正の進路と、其主な地名と〔を〕入れた朝鮮の略圖を書きなさい。

(三) わが國の川のよい點とわるい點とをのべなさい。

(四) 信長、秀吉、家康の皇室に對する尊敬ぶりを比較しなさい。

(五) 左の文を正しく直しなさい。

はまぐりには足が二本あり、くらげには六本あり、えびには十本ある。それだから動物の足は皆偶數である。

(六) 左の文を正しく直しなさい。

人が團體をなして生活するにわ、誰も守らなければならない規則がある。國の規則と法令といふ。法令さへ守れば善人である。教室内の行儀は法令には定めてない<sup>(マ)</sup>が、それをよくしなくても悪人ではない。

麻 布 中 學 校

■ 口 問 筆 答

- (一) 「ほどゝゝに心を盡くす國民の力ぞやがて我が力なる」のわけを書きなさい。
- (二) 次の書き取りをなさい、<sup>(ママ)</sup>
- (イ) メイヨ。 ヒンカク。 オブ。 ソナへ。 ツウオウ。
- (ロ) チヨウセンは冬になるとずゐぶん寒いけどどの家も寒さを防ぐにツゴウよいやうに出来てをります。
- (ハ) シヨクリンはウゑてさへオけばネンネンふえてリソクが<sup>(ママ)</sup>づ きます。
- (三) 120頁の本を3日で讀もふと思つて初日に全體〔の〕 $\frac{2}{5}$ を讀み、次の日に初日の $\frac{3}{4}$ を讀んだ、3日目は何頁讀まねばならぬか。
- (四) リンゴとナシが合せ<sup>(ママ)</sup>で 153ある、そのうちナシはリンゴの7割であるリンゴは何箇か。

■ 口 問 口 答

- (一) 受験番號。姓名。
- (二) 日本の國をなぜミヅホの國といひますか。
- (三) 此の學校の外にどこかの學校を受けましたか。
- (四) 鶏卵が五〇〇箇あります、其のうちの二割はくさっています。くさっていないのは何箇ですか。

東京府立第一高等女學校

■ 第一性行考査

- (一) 教養狀態。  
家庭に於ける教養の狀況に就て質問す。
- (二) 言葉遣。
- (1) あなたの受持の先生は、あなたが女學校へ入學を志願するに就て、どんな世話をして下さいましたか。(専ら敬語の遣ひ方を檢す)
- (2) 上野公園から宮城(又は明治神宮、日比谷公園、東京驛)へ行くにはどう通つて行きますか。
- (三) 作 法<sup>(ママ)</sup>  
歩行、着席離席、姿勢敬禮等に就て檢査す。
- (四) 内申書に基づく考査。  
各項に就て檢査す。
- (五) 道德上の常識。<sup>(ママ)</sup>
- (一) 左の人々の中で、善い人に<sup>(ママ)</sup>ば ○じるし悪い人に<sup>(ママ)</sup>ば ×じるしをおつけなさい。
- 例 ○ (1) 菅原道眞。

× (2) 足利尊氏。

こゝから始めなさい。

- (1) 徳川光圀。 (2) 蘇我入鹿。 (3) 北條高時。 (4) 高山彦九郎。  
(5) 新田義貞。 (6) 道 鏡。 (7) 空 海。 (8) 平 重 盛。  
(9) 足利義満。 (10) 和氣廣蟲。

(二) 左の人々は皆それよりよい行をした人ではありますが、どの人がどの行をしたのでせうか、括弧の中にお書きなさい。

例 楠木正成(忠義)

こゝから始めなさい。

よ い 人

乃木大將。 勝 安 房。 加藤清正。 ナイチンゲール。  
西郷隆盛。 上杉鷹山。 井上でん。 伊能忠敬。  
中江藤樹。 フランクリン。

よ い 行

博愛。 儉約。 度量。 工夫。 徳行。 清廉。 公益。 勇氣。 勤勉。 誠實。

- (1) 乃木大將 ( ) (2) 上杉鷹山 ( ) (3) 勝 安 房 ( )  
(4) 井上でん ( ) (5) 加藤清正 ( ) (6) 伊能忠敬 ( )  
(7) ナイチンゲール ( ) (8) 中江藤樹 ( ) (9) 西郷隆盛 ( )  
(10) フランクリン ( )

#### ■ 第二智能、常識問題

(一) 左の五種の實物を示し、その『名稱』と『どうし<sup>(ママ)</sup>で 食べるか』又は『何にして食べるか』を記入せしむ。

- (1) 大 麥。 (2) 小 麥。 (3) 玄 米。 (4) もろこし。  
(5) 大 豆。

(二) 洋服と和服とに就て左の事項を問ふ。

- (1) ドチラガ便利カ。 (2) ドチラガ衛生ニカナフカ。  
(3) ドチラガ主ニ毛織物デ作ツ<sup>(ママ)</sup>ラ アルカ。 (4) ドチラガ虫ガ喰ヒ易イカ。  
(5) ドチラガ洗濯シ易イ<sup>(ママ)</sup>ガ。

(三) 次の手紙を読み聞かせ、左記の各項に就て答へしむ。

涼しい若葉の上に鯉幟の翻るのを見るやうになりました。先生にはお變りもございませんか、私はこちらへ参りましてから、食事や寝起などですべて規則正しくいたしてゐますので、誠に丈夫で日々面白く勉強してゐますから御安心下さい。

一緒に入學いたしましたのは二百四十人で五組になつてゐます。急に見ず知らずの人達<sup>(ママ)</sup>は かりの中にはいりましたので、もとの小學校が戀しうございましたが、たゞ今ではもう幾人かのお友達が出来ました、<sup>(ママ)</sup>學級主任の先生は大層親切なお方でよくお世話をして下さいませ<sup>(ママ)</sup>ずので一同喜んでゐます。

學科は今までよりは、大變むづかしいございますが追々慣れるにつれて面白くなつて参りました、<sup>(ママ)</sup> たゞ英語だけは今まで少しも習つてゐませんのでよほど骨が折れます。

在校中に先生のお書き下さいました短冊はいつも座右に掛けてお論しのかず々を心にしめて勵んでゐます。

おひ々暑さに向ひますから、どうぞお體を御大切に遊ばして下さい。

(1) どんな人の書いた手紙か。

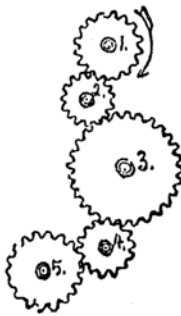
(2) 誰に宛てた手紙か。

(3) 季節は何時頃か。

(4) 何の爲に書いた手紙か。

<sup>(ママ)</sup> (4) 短冊にはどんな意味のことが書いてあつたと思ふか。

(四) 次の圖を渡し次の如く命ず。



『この圖は、五つの車のうち、一つが廻れば同時に皆廻る仕掛である、<sup>(ママ)</sup>  
(1) の車が矢の方向に廻れば(3) の車と(5) の車はどの方向に廻るか、廻る方向に矢印をおつけなさい。』

(五) 一紙片を渡し次の如く命ず。

『この紙片の右側の方に番號と姓名を書きなさい』。

『この紙片の長さは、どの位ありますか、目分量でおはかりなさい。その長さを姓名のすぐ左側に書きなさい』

『それからこの紙片を、物さしを使はないで、五等分して筋をお入れなさい、どうしてゞもよろしいから』

(六) 次の五問題を渡し次の如く命ず。

『この問題の正しいものには○をつけ、正しくないものには×印をつけなさい』

(1) 或ル數ノ $\frac{1}{7}$ 倍ヲ求メルコトハ或ル數ヲ7デ割ルコトデアル。

(2) 2糶平方ガ3錢ノ金箔ヲ6糶平方買ヘバ9錢デアル。

(3) 二十四圓ニ賣ルト二圓ノ利益ガアル品物ハ四十八圓ニ賣ルト四圓ノ利益ガアル。

(4) 7人ノ19日ニ對スル比ノ値ハ $\frac{7}{19}$ デアル。

(5) 4立方米ハ2米立方ノ2倍ニ等シイ。

### 東京府立第三高等女學校

府立第三高女は口問口答で試験を行つた<sup>(ママ)</sup>、試問は小學校の教材のうちから常識的な問題を十名の試験官で順々に聞き合評で評点を決定する<sup>(ママ)</sup>評点は最上上中下最下の五等に別け最上と上を第一合格者とし定數に不足するときは中から抽せんで合格者を取り尚體格検査も五等に分けて検査を行つた。

#### ■ 口 問 口 答

○試問室ハ第一室ヨリ第七室ニ分タレ、第一室ヨリ第六室マデハ凡テ口問口答トシ、第七室ニ於テ算術ノ筆問筆答ヲナス。次ノ例ノ如キ程度ノ問題ヲ第一日第二日第三日午前午後ニ亘ツテ試験ス。

(第一日)(十日)午前

第一室——家庭ニ關スルコト。

第二室——同上。

兄弟ノ數、あなたは何番目デスカ。父ノ職業。ソレハドウイフコトヲヤルカ。現住所。學校へ行クマデ、學校カラ歸ツテカラドンナコトヲスルカ等。

第三室—— 暗算。

(加法、減法、乗法、歩合ニ關シテ)

第四室——讀方。

「吉野の町に入れば、藏王堂あり。堂前四本の櫻ある處は大塔宮の吉野を落ちさせ給ふ時、別離の宴を張らせ給ひし跡なりとぞ。藏王堂の附近に金輪寺跡及び吉水神社あり。何れも吉野の朝當時の行宮の跡なり。後醍醐天皇此の地におはせし時の御製に、

こゝにても雲井の櫻咲きにけり

たゞかりそめのやどと思ふに。」

ヲ讀マセテ、

- (1)「吉野を落ちさせ給ふ」「別離の宴」「吉野の朝」「御製」ノ意味。
- (2) 皇后ノ歌ヲ何トイヒマスカ。
- (3)「こゝにても雲井の櫻咲きにけり、たゞかりそめのやどと思ふに」ノ意味。

第五室——理科。

- (1) 海藻ノ種類、用途、色分ケ。
- (2) アルカリ性トハ何カ、アルカリ性ヲ有スルモノ。
- (3) かせいそーだニえんさんヲ注グトドウナリマスカ。又たんさんそーだニえんさんヲ注グトドウナリマスカ。
- (4) たんさんそーだハ何ニ用ヒラレマスカ。用ヒラレル理由ハ。
- (5) でん粉ト糖類トノ違ヒ。
- (6) たんさんそーだトかせいそーだト一寸見テチガフ所ヲイツテゴランナサイ。

第六室——國史。

- (1) 寛政ノ三奇人ヲアゲ、各人ノシタコトヲイヒナサイ。

(2) (イ) 臺灣ハ何時我國ノモノニナリ<sup>(マ)</sup>「ま」シタカ。(ロ) ソノ時ノ戦争ノ名前。(ハ) 又條約ノ名前。(ニ) 兩全權委員ハ。(ホ) トリキメタ主ナ事ハ。(ヘ) 日清戦争ノ原因ハ。

第七室——算術(筆問筆答)

問題(1) 男ガ8人デスル仕事ヲ女ガスルト、14人カハル、アル仕事ヲ女ガ7日カハツテシタラ男ハ何日カハルカ。

(2) 甲ガスレバ6時間カハリ、乙ガスレバ8時間カハリ、丙ガスレバ9時間カハルコノ仕事ヲ甲ガ $1\frac{1}{2}$ 時間シ、乙ガ2時間シタ残リヲ丙ガスルト何時間カカルカ、又三人デー緒ニシタラ何時間カハルカ。

(第一日)(十日)午後

第一室——家庭ニ關スルコト。

第二室——算術(暗算)<sup>(マ)</sup>

第三室——讀方。

「道を行くにも、舟車に乗るにも、旅館に宿るにも、自ら公衆に對する禮儀あり。衆人群集の場處にて他人を押退け、汽車汽船等の中にて我獨り廣き場處を占め、旅館にて夜おそく高聲を發して他人の安眠を妨ぐるが如きは、文明國民の爲すべきことにあらず。老人、長者のために道を譲り幼者、不具者のために席を與ふるが如きは個人としても、國民としても、誠に奥ゆかしきことなり」

ヲ讀マセテ、

(1) 「文明國民」「長者」「奥ゆかし」ノ意味。

(2) 文明ノ反對語。

<sup>(マ)</sup>地 四室——理科。

二枚貝ニツイ<sup>(マ)</sup>「ヲ」。

(1) 水ノ入ル孔ト出ル孔。

(2) 脚ノ出ル所及ビ運動法。

(3) (エヲ<sup>(マ)</sup>「ヲ」指シテ) コレハ何カ。

第五室——理科。

(1) スノ中ニ試験紙ヲ入レルトド〔ウ〕ナルカ。

(2) スノ中ニハ何トイフ酸ガ入ツテキルカ。

(3) 酸ノ性質ト種類。

(4) 酸ノ中ニ金屬ヲ入レルト、ドウナルカ。又出ルモノハ何カ。

第六室——國史。

(1) 日露戦争ノ原因。

(2) ポーツマス條約ニテトリキメタ事項ト兩全權委員。

第七室——算術。

問題(1) 或仕事ヲスルニ、男4人デスル日數ト女7人デスル日數トガ等シイトキ、男1人デ8日



カハル仕事ヲ女1人デスレバ何日カハルカ。

(2) 元金3570圓, 年利7分, 利息499.8圓ナルトキ, 期間ヲ求ム。

### 東京府立第六高等女學校

#### ■ 口 問 口 答

校長以下十名の教師が口問口答で各自銘々な試問を行つた其の例を示せば

- (一) 磁石の針の方向は何方を向いてゐますか。
- (二) 箱の體積はどうして出ましたか。
- (三) 此處に截つてある枝を元の通り合せて下さい。
- (四) ナイフを取つて下さい。
- (五) この物體を物指で測りなさい。

### 三輪田高等女學校

#### ■ 筆 答 第一問 (一時間)

- (1) 金1圓を $1 : \frac{2}{3} : 0.5$ の割合にお分けなさい。
- (2) 右の圖において
  - (イ) 三角形の中にあつて其上大圓の中にも小圓の中にも入つてゐる部分の番號をおかきなさい。
  - (ロ) 三角形の中にも小圓の中にもない部分の番號をおかきなさい。
- (3) (イ) 5, 0, 3, 9, 7の五ツを使つて一番大きい整数と, 一番小さい整数とお書きなさい。
  - (ロ) 次の數字を使つて一番小さい分数をおかきなさい。

8, 1, 3, 6

- (4) 甲<sup>(マ)</sup>は乙の西にあり, 乙は丙の南にあり, 丙は丁の北にありとすると甲は丁のどちらに居りますか, 之れを圖におか<sup>(マ)</sup>ぎなさい。
- (五)<sup>(マ)</sup>電氣を應用したもの五ツをおかきなさい。
- (六)<sup>(マ)</sup>金屬の名前七つおかきなさい。
- (七)<sup>(マ)</sup>次の動物はどこを使つて前に進みますか。
  - (イ) こ ひ。 (ロ) つばめ。 (ハ) にはとり。
  - (ニ) へ び。 (ホ) とんぼ。

#### 第 二 問 (一時間)

- (一) 次の<sup>(マ)</sup>よ 語句はどんな時につかひますか。
  - (イ) その右にいづるものなし ( )
  - (ロ) 花も恥ぢらふばかりなり ( )
  - (ハ) 舌をまいた ( )

(二) 我が國で幕府を開いた人は誰々ですか又其の置かれた地は何處々々ですか。

人 名

場 所

(三) 次の漢字を上か下かにつかつて熟語を一つづゝお作りなさい。

(イ) 儀。 (ロ) 識。 (ハ) 檢。 (ニ) 壞。

(四) 次の上段の語と意のよく似た語を下段の語の中からより出して ( ) の中におかきなさい。

(イ) 納得する ( ) (生れ<sup>(ママ)</sup>づき) (にこゝする)

(ロ) 愛想よし ( ) (苦勞をする) (大きくなる)

(ハ) 天下に聞えたり ( ) (笑聲聞えたり) (體格よし)

(ニ) 憂き目を見る ( ) (きゝ入れる) (受納する)

(ホ) ひととなり ( ) (評判が高い) (心配をかける)

(五) 日本の重なる輸出品と輸入品とをおかきなさい。

輸 出 品

輸 入 品

(六) 色をあらはす漢字を十字おかきなさい。

(七) 次の語句をまとまつた一文章になるやうに結びつけ ( ) の中にその順位をお入れなさい。

(イ) いつ此の寒さがゆるむかと ( )

(ロ) 氷つ<sup>(ママ)</sup>で あるのを見ると ( )

(ハ) 桃の蕾を見た時のうれしさ ( )

(ニ) 朝汲んだ水が ( )

(ホ) 心細くも思はれたのに ( )

## 五 新舊試験様式の批評

大正十四五年頃までの入學試験の問題は、前節の様に、中々子供にとっては難題で御座いました。問題を出す方では「何尋常五年の教科書の中にある」などと極簡単に申しますが、子供の身になつて見ますと、教つた其の時すら怪しかつたのに、一年も一年半もたつてから「此の<sup>(ママ)</sup>問題の解釋をしろ」などやられたのでは、まごついてしまひます。殊に試験問題が教科書の中でも難<sup>なん</sup>題の方とか又は教<sup>けうくわ</sup>科<sup>(ママ)</sup>書程度以上<sup>しよていど いじやう</sup>のものとか、又は教科書の中の問題を中等學校の教師が一寸變更した問題とかで御座いますと、子供にとっては<sup>(ママ)</sup>と、「教科書の中にある問題」「少し許り程度の高い問題」「教科書の問題を一寸變へた問題」と言ふ言葉が表現して居る様な簡單なものでは御座いません。殊に小學校教員の教へたことのない問題を出すなどと力む教師があるに至つては子供にとって、入學試験は、中々の難關<sup>なんくわん</sup>で御座いました。其れが爲めに、其の頃の小學校では<sup>(ママ)</sup>獨<sup>もうれつ</sup>烈な受験準備が開始され、小學校教育の趣旨などは眼中におかない有様でありました。又子供は各府立や一流に入學したい一心で復習し努力する。其れでも目的の學校は競争<sup>きやうさう</sup>が劇しく中々入學出来ないと言つた調子で、親にとつても子にとつても、教師の身になつても、痛々

しい限りで御座いました。目的の學校へ入學出來なかつた子供の父兄は、受持教師の教へ方が悪いと非難致します。誰れか、悪い者<sup>(ママ)</sup>が出來なくては承知<sup>しやうち</sup>の出來ないのが親心で我子悪しとはどうも考へられません。中には我子の頭も餘り良くないが、先生も悪いと入學出來なかつたことに、先生が相伴する、と言つた有様で、もし學校全體として府立の入學率が上らないと學校全體の教授がよくないと小學校長を責めたてます。其處で校長は受持教師を督勵し、受持教師は互に競ひ合つて受験準備に熟中し、其のために小學校の正規の學科などは省みもせず、劣等兒や中等學校に入學しない子供は皆犠牲となつてしまひます。此の様に受験準備が舊制度の根本的<sup>なや</sup>の惱みでありましたから、受験準備廢止が先づ叫ばれ、受験準備の廢止の叫びは入學試験廢止となり、父兄の要求と合致して實際運動となり、新制度の訓令となつたので御座います。しかし此の新制度は、決して試験を廢止したのでは御座いません。只單なる變更で御座います。附隨的弊害の爲に試験制度の本質的變改を行つたので御座います。中等學校長のみにあつた中等學校入學許可の權利の一部分、否全部に近くを小學校長に委任した變更と認めて差し支へないので御座います。又、中等學校で二三日で検査し決定した試験を、六ヶ年の除々とした試験に變更したので御座いますから、其の目的とする受験準備廢止には、一年か半年頭腦<sup>づのう</sup>の明晰<sup>めいせき</sup>な子供なら二三ヶ月の準備でよかつた復習を六ヶ年の不斷の準備に變へた<sup>だけ</sup>で、何の效果も御座いませんでした。今少し正確に論評するために新制度の内容を内申書と人物考査との二つにわけて吟味致します。

舊試験制度では問題が同一で標準<sup>へうじゆん</sup>がはつきりしてゐたと言ふ長所がありましたが、小學校長の内申書は標準が一定して居りません。甲の學校での6點が乙の學校で8點である場合もあり、甲の組の6點は乙の組の8點である場合もあります。又小學校では、何を標準にして採點して居りますかと質問<sup>(ママ)</sup>しましたなら、「先生の主觀<sup>せんせい しゆくわん</sup>で」とか、又、「一番出來るものを十點と見て」とか又は、「私の教へたのを完全に知つた<sup>(ママ)</sup>居ると言ふことを標準にして」とか種々雑多な答が出ませう。此の様に標準の一定して居らない事が内申書の一大缺陷で御座います。

次に此の様に標準が一定して居り〔ま〕せんから、各中等學校は小學校成績の席次で一番、二番と、順に入學させると言ふことになります。それが爲に、一校で七八十人も中等學校へ行く生徒のある學校では、どんなに先生の主觀<sup>しゆくわん</sup>を工夫しても最後のものが三十番前後になり、一校に四五人の所は一番二番の占有が許せますので、此處に不平等が生れ、受験者が多ければ多い程、損な事になるのであります。「何正直につけたらよいではないか、特に工夫するのが不正義なんだ」などと申しますが、學校と致しますと一人でも多く立派な學校へ入學したいので御座います。これは單に學校の虚榮からばかりではなく教師として、校長として、父兄へ對しての義理、教子の可愛いさからであつて一概に不正として責める事が出來ません。此の不平等が一級に優等一番が五人一校に二十人などと言ふ珍現象<sup>ちんげんしやう</sup>を生む<sup>(ママ)</sup>ので、又致し方ない制度の罪で御座いませう。

舊制の試験には、兒童の成績に立派に證據が存在して居りました。即ち客觀<sup>きやくくわん</sup>的な試験であつたので御座います。所が内申書になりますと、考査に證據がありません。即ち主觀的な試験で御座います。其の主觀には「此の子は日常よく活動するが、試験をすると出來が悪い、しかし平常點<sup>へいじやうてん</sup>と言ふこともあるから九點にしておかう」「あの子は考査をすると何時も十點だが平常、

外見<sup>そとみ</sup>許りして居つていけないから九點にしておこう」と言つた調子<sup>てうし</sup>がないとも限りません。どうして全部が正確で證據あるものと言ひ得ませう。

又次に此の内申<sup>ないしんせいど</sup>制度は決定が校長の主観によります。其の所に情實<sup>じやうじつ</sup>の起る可き餘地<sup>あた</sup>を與へられて居ります。

府立一中に不正<sup>ふせい</sup>の内申書と思はれるものが二割六分もあつたと云ふことは此の情實<sup>じやうじつ</sup>を物語る充分の材料で御座います。實に此の點に教育者として親として最も恐る可きものが、ひそむ<sup>ひそむ</sup>で御座います。舊制度<sup>きうせいど</sup>の試験は小學校教育を破壊<sup>はくわい</sup>する受験準備が恐ろしく、新内申書制度は受持教員と校長の主観による決定力に恐る可きものが伴ふので御座います。一番も二番も實を申せば受持の考へ一つであります。確かに、其の子が智能<sup>ちのうてき</sup>的に一番であつても技能科で加減<sup>かげん</sup>され、行儀で加減されて下位になることはいくらか御座います。殊に優秀な頭腦の子程、拙劣な教授の缺點を發見するものでありますから、受持教師は時によつて行儀<sup>ぎやうぎ</sup>の悪い子として斥けることが御座います。そんなに極端でなくとも、概して先生の考へ一つと言ふことは、先生の感情に訴へる行爲が兒童の成績に影響<sup>いんげう</sup>することを辭むことが出来ません。此處<sup>こゝ</sup>に於いて「長いものには巻かれる」主義が教へ込まれます。長上の機嫌取りが會得<sup>くわいてき</sup>させられる機會や、動機を與へられます。實力以外の情實の世界が兒童の生活<sup>ちようせつ</sup>に直接に、しかも大きな力を持つて働きかけます。此れは理智<sup>りち</sup>的な正しい教員に於いて弊害が最も少なく感情的な陋劣な心事の教員に於いて弊害が最も多いので御座います。全日本二十餘萬の教員全部が理智的で正しいと誰が言ひ得ませうか。言ひ得ないとすると受験準備<sup>じゆけんじゆんび いじやう</sup>以上の弊害を産みつゝあることにはなりはしませんでせうか。

昭和二年のK中學校の入學試験の噂<sup>うはさ</sup>に「是非貴郎の御子さんを私の學校に入學させたければ小學校へ行つて、一番か二番に内申書<sup>ないしんしょ</sup>を書き直してもらつていらつしやい。一、二番より入學させない規定に今年はなつて居りますから」と言ふ幹部の話に、父兄は、小學校へ行つて是非書き直して呉れと、保護者會の役員の地位<sup>りよう</sup>を利用してひた押しに押し付けました。學校でも仕方なしに「學校に絶對責任を負はせないなら書きませう」と言ふ事になり、其の要求通り書いて、其の子はK中學校に入學が出来たそうで御座いますが、其れなどは内申書の權威を學校で失墜<sup>しつてい</sup>させて居る例と言つてよいのであります。要するに内申書制度も捨つ可きものではないのですが、内申書のもつ前掲の様な本質的の缺陷と、其の權威を高めるために小學校校長が協力<sup>けりよく</sup>一致しないために、其の價值を零に等しくしてしまつたので御座います。事實小學校長が、中等學校長から中等學校入學許可權の一部を委任<sup>あにん</sup>せられたのだと言ふ意識を全體<sup>ぜんたい</sup>的に持ち、其の信賴に對して自信ある態度を取らなかつた所に、内申書の非難を高めた原因が存するので御座います。即ち内申書で入學させる事は、小學校長の職權<sup>しよくけん</sup>の内容的擴張であり小學校長全體が、其の職權の價值を確信し其の立場<sup>たちば</sup>を自重するなら、「内申書に不正あり」と言ふ様な非難を社會から受け〔る〕可きではありません。しかし小學校長と保護者との關係の密接<sup>みつせつ</sup>な所では致し方のない事でありませうが、此の小學校長の無確信<sup>むかくしん</sup>が内申書制度を破壊してしまつたと言つてよいのであります。昭和三年度の試験期に、文部省の訓令に基いて府立の六中其の他二三校が第一次<sup>せうがくかうちう</sup>考查は小學校長の内申書で選拔し、第二次<sup>じんにぶかうき</sup>考查は、人物<sup>じんぶつ</sup>考查、體格<sup>たいかく</sup>検査で、選拔すると發表<sup>はつぱういた</sup>致しました。しかしよく考へて見ますと此の選拔法では、第一次<sup>ふがくくしや</sup>の不合格者は、小學校長が、落第<sup>らくだい</sup>した事になります。

そうなると小學校長は保護者に対する責任を負はなければなりません。實に父兄から嚴重に小學校長の責任を問はれる憂があります。ために内申書制度を強調した小學校長が、第一次の選抜の結果を發表しないで、全部の生徒を受験さしてくれと、各中學校とか府學務課とかへ陳狀したと聞きましたが、事實とすると如何にも卑怯であり、小學校長の無確信を示す好實例では御座いませんか。それかあらぬか。第六中學校でも其の他でも第一次試験は全部パスと言ふことになり、内申の價值は地を拂つたので御座います。

次に「人物考査」と言ふ言葉は實に不確實極はまる言葉で御座います。山崎前政務次官は「改正制度の精神の説明」の中に口頭試問は、從來の方法でなければ學課を以つて人物考査をしてもよいと言ふ様な事を言はれ、又筆答も場合によつて悪くないなぞと言はれて居ります。其のために、口問口答、口問筆答、筆問筆答など種々變つた方法が内申書を信じない中等學校側が案出した次第で御座います。筆問筆答は從來の試験法で異とするに足りませんが、口問口答、口問筆答の人物考査には、非常に嫌きたらぬ點が多いので御座います。即ち昔の様な試験を行ひたいが、訓令の手前行へ得ない、だから形式文辯解の出来る様にして昔通りの試験をしようと言ふ考へから、發明した珍形式で、昔通りの試験でもなくそれかとて新味のある方法でもない、不完全な一の脱法行爲で御座います。今、口問口答、口問筆答の缺點を挙げますれば、

- 1、一人の教師が全生徒を考査出来ませんから採點に當つて主觀に相違の出来ること（口問口答）
- 2、各教師の言語音量時間に相違あること（口問口答 口問筆答）
- 3、最初の子供と最後の子供との間に試験官の疲勞に差のあること（口問口答）
- 4、完全に意志表示を受けとれない子供のあること（口問口答 口問筆答）
- 5、主觀によつて決定された結果について證據の残らないこと（口問口答）

以上の様に、人物考査法は完全では御座いませぬ。舊制度にも「難問に流れやすい」「小學校教育を無視した受験準備が教師の手によつて行はれる」と言ふ弊害はありますが、新制度にはより以上の本質的缺點が多いので御座います。即ち隨伴的缺點を除去する目的で本質を低下させて根本的な弊害を創製したと斷言しても誤りでは御座いません。されば今後の情勢は一時舊制に復し改めて科學的な試験内容の改善と言ふ様に流れて行き、各中等學校長の自由裁量が最も妥當的であると言ふことになるのでないかと思はれます。